

美浜町 人口ビジョン

目次

I. 人口ビジョンについて.....	1
1. 策定の趣旨.....	1
2. 美浜町人口ビジョンの位置づけ.....	1
3. 対象期間.....	1
4. 国の「長期ビジョン」.....	2
5. 「和歌山県長期人口ビジョン」.....	2
6. 国の人口推移と時代のトレンド.....	3
II. 美浜町の人口動向の現状と見通し.....	4
1. 現状分析.....	4
(1) 総人口の推移.....	4
(2) 人口動向.....	5
(3) 人口動態.....	7
(4) 要因別分析.....	8
(5) その他の分析.....	12
2. 将来人口の見通し.....	14
(1) 趨勢人口と戦略人口.....	14
(2) 人口推計のシミュレーション別概要.....	14
(3) シミュレーション結果.....	18
3. 美浜町における人口動向・構造の課題.....	24
4. 人口の変化が地域の将来に与える影響.....	27
(1) 町民生活への影響.....	27
(2) 地域経済への影響.....	27
(3) 行財政への影響.....	27
III. 人口の将来展望.....	28
1. 将来を見据えた人口問題に対する取組の考え方.....	28
2. 目指すべき将来の姿の基礎となる町民の希望等.....	28
(1) 町民意識調査の概要.....	28
(2) 調査結果の概要.....	28
3. 目指すべき将来の戦略人口と展望.....	34
(1) 戦略人口（前述 Sim3）.....	34
(2) 戦略人口に基づく将来展望.....	36
(3) まとめとしての将来展望.....	39

1. 人口ビジョンについて

1. 策定の趣旨

美浜町では、これまで、「第5次 美浜町長期総合計画（平成23年3月策定）」に基づき、「緑と絆で築くまち」の実現に向けて、まちづくりの3つの基本目標である「安心と安全～緑が映えるまちづくり～」、「笑顔と健康～みんなで育むまちづくり～」、「汗と希望～未来に羽ばたくまちづくり～」に向けて、積極的に取組を進めてきました。

そのような中、平成26年11月21日に「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）が制定されました。同法では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力あるまちを維持することを目的に、市町村版総合戦略の策定を努力義務として規定しています（第10条）。

また、国においては、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、平成26年12月27日に閣議決定されています。

本ビジョンは、「美浜創生総合戦略」の策定にあたり、本町人口動態の現状、地域特性等を整理・分析し、施策効果による将来像を予測推計したものを「美浜町人口ビジョン」としてとりまとめたものです。

2. 美浜町人口ビジョンの位置づけ

美浜町人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を尊重し、本町における人口の現状分析を行い、人口に関する町民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

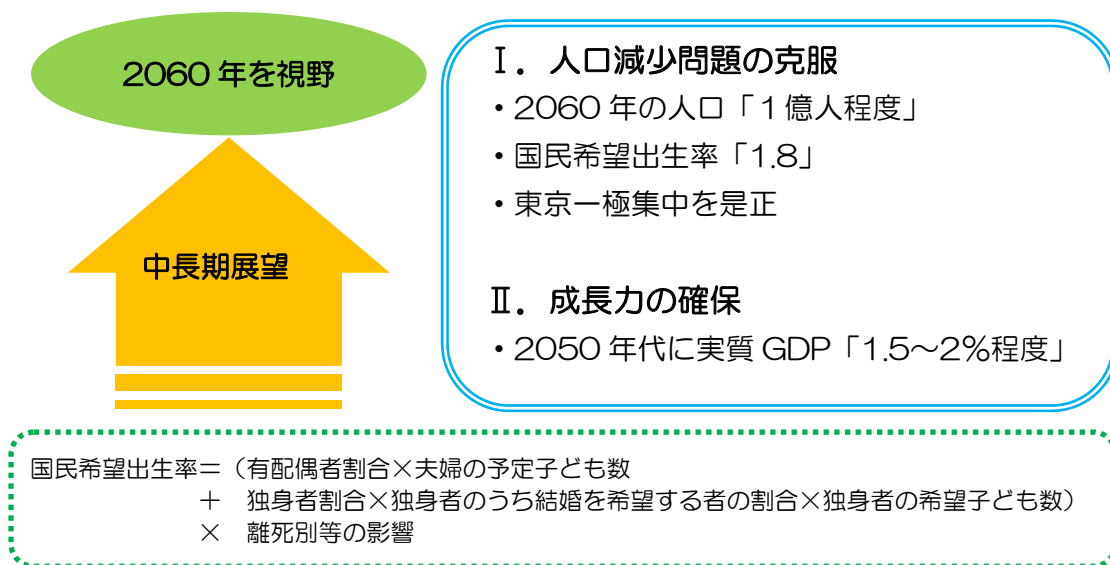
よって、この人口ビジョンは、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎となるものです。

3. 対象期間

国の長期ビジョンの期間を踏まえ、2060（平成72）年とします。

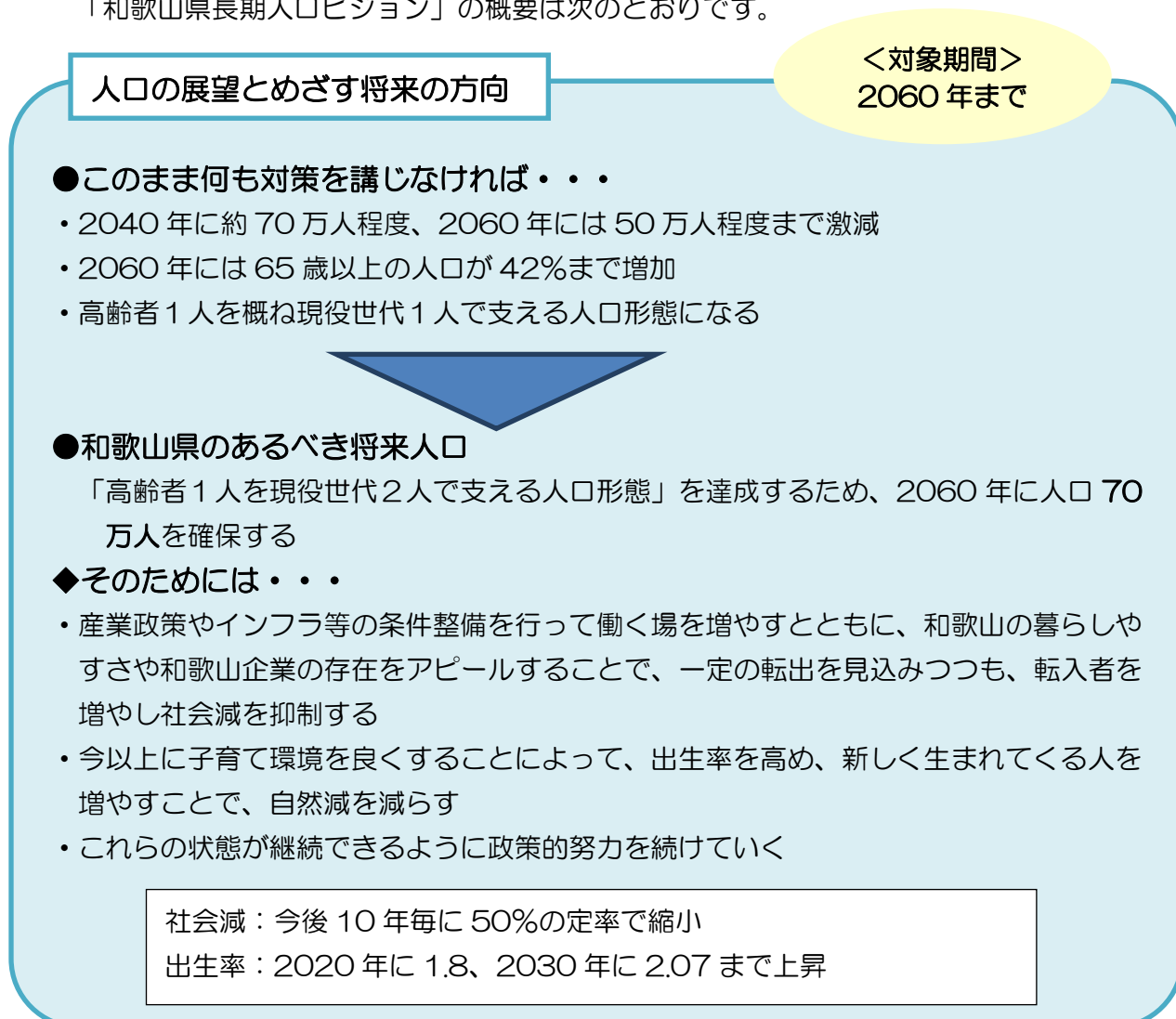
4. 国の「長期ビジョン」

国の「長期ビジョン」は以下のとおりです。



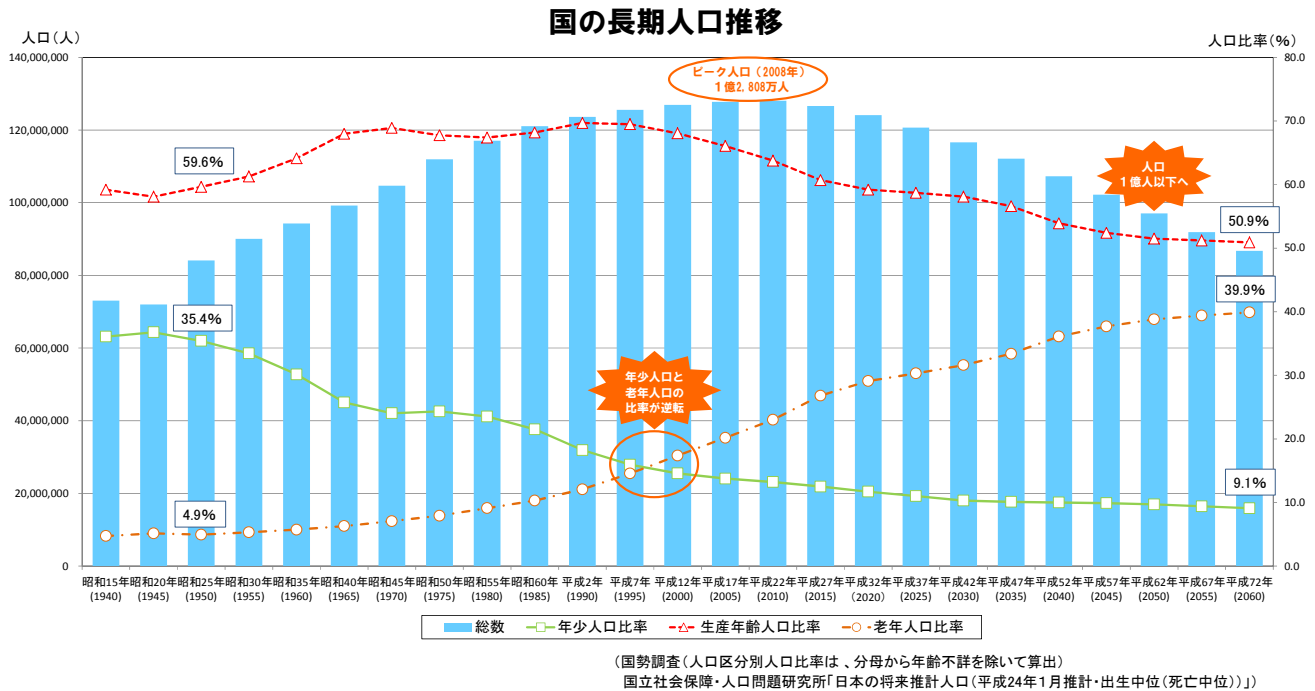
5. 「和歌山県長期人口ビジョン」

「和歌山県長期人口ビジョン」の概要は次のとおりです。



6. 国の人口推移と時代のトレンド

我が国の人口は、1950年以降、一貫して増加していましたが、2008年をピークに減少に転じており、2060年には8,674万人程度にまで減少すると推計されています。これは高度経済成長期以前の1950年の人口と概ね同程度ですが、年齢構成を比較すると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の割合が小さく、老年人口（65歳以上）の割合が大きくなっており、年少人口比率と老年人口比率がほぼ逆転しています。



時代のトレンド

人口の減少

2014年の総人口「1億2,708万3千人」
※2008年（ピーク人口）から100万人程度減少

全国的な低出生率と大都市の超低出生率

2014年の合計特殊出生率「1.42（東京都1.15）」
※8年連続の自然減少

晩婚化の進行

1975年の平均初婚年齢「夫27.0歳、妻24.7歳」
→2013年の平均初婚年齢「夫30.9歳、妻29.3歳」

人口の東京一極集中

2013年の地方圏転出超過「89,786人」、東京圏転入超過「96,524人」
※18年連続の東京圏転入超過

移動の縮小

1973年の移動「4,234,228人」→1993年の移動「3,079,080人」
→2013年の移動「2,301,895人」
※20年で25.2%、40年で45.6%の縮小

高齢化の進行

2014年の65歳以上人口「3,300万人」
※高齢化率26.0%

(人口推計(平成26年10月1日)結果の概要、人口動態統計、人口移動報告)

II. 美浜町の人口動向の現状と見通し

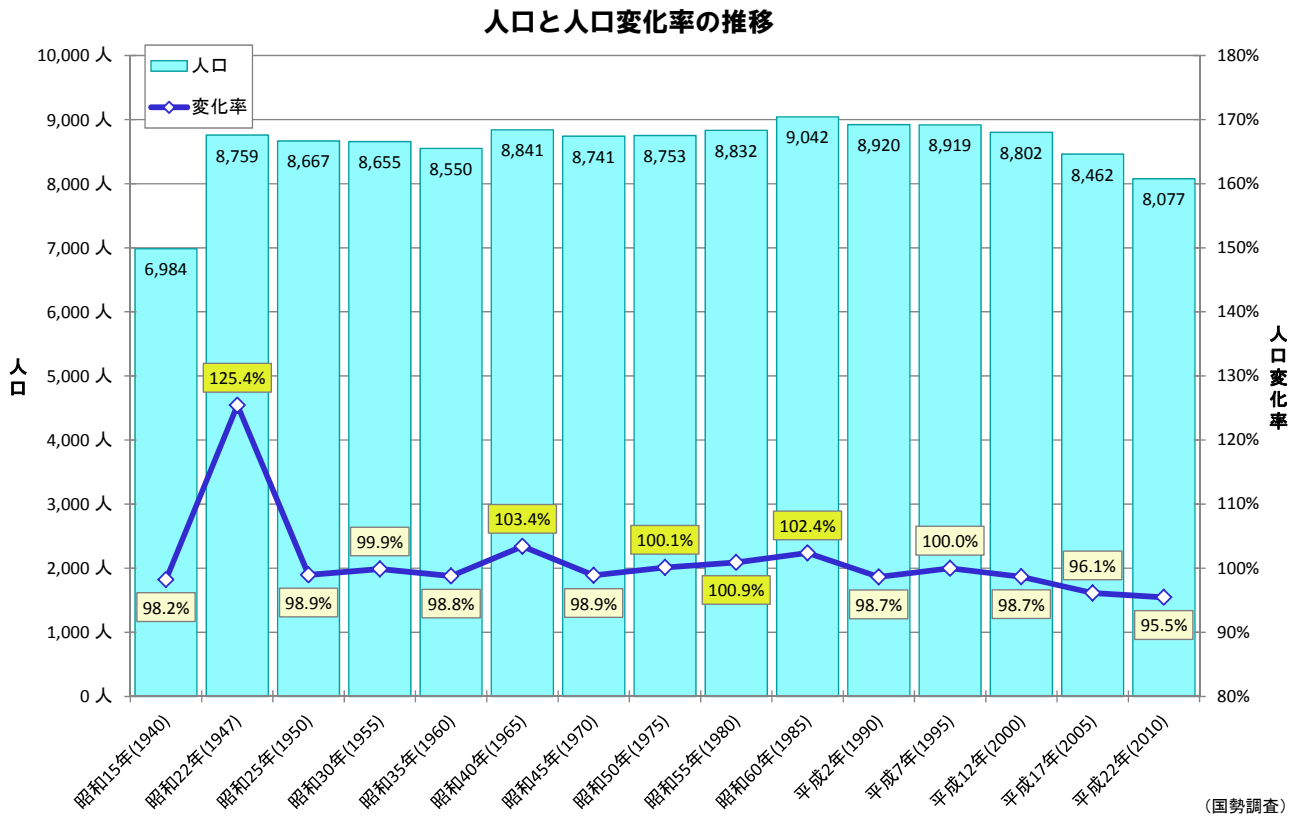
1. 現状分析

過去から現在に至る人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、講ずべき施策の検討材料を得ることを目的として、時系列による人口動向や年齢階級別の人口移動分析を行います。

(1) 総人口の推移

美浜町では、他の多くの自治体と同様、戦後の復員やベビーブームに伴って昭和22年に人口が大きく増加し、昭和15年の6,984人から8,759人となっています。

その後は、ほぼ横ばいで推移し、昭和60年に9,042人とピークとなった後は減少傾向となり、平成22年には8,077人となっています。

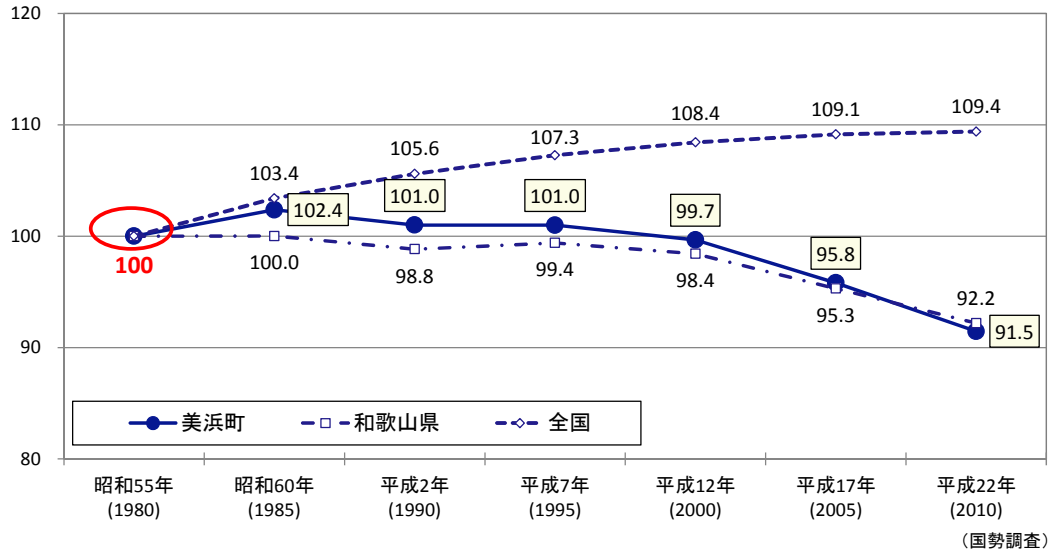


(2) 人口動向

① 人口変化指数

昭和55年の人口を100とした場合の変化指数の推移を全国・和歌山県・美浜町で比較すると、全国では平成22年がピークとなっているのに対し、美浜町は和歌山県とほぼ同様に昭和60年の102.4をピークに減少傾向で推移しており、平成22年には91.5となっています。

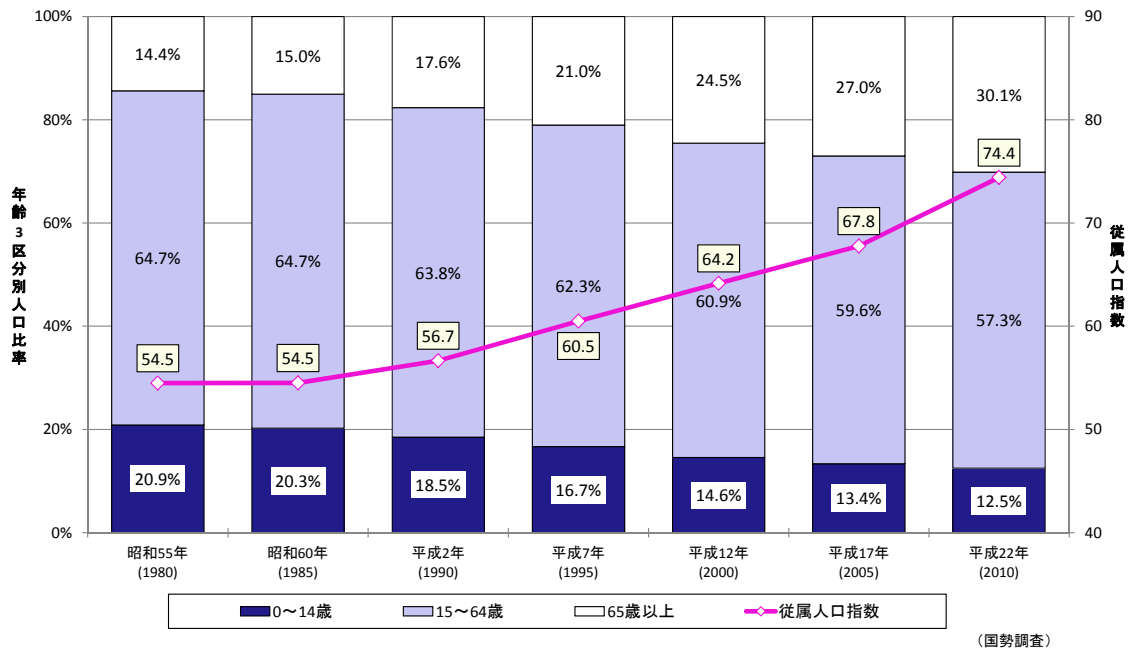
人口変化指数の推移



② 人口構成比

年齢3区分別の人口構造の推移についてみると、老年人口が昭和55年の14.4%から平成22年には30.1%と30年間で15.7ポイント増加している一方で、年少人口は20.9%から12.5%と8.4ポイント減少しており、少子高齢化が進行していることがわかります。従属人口指数は、昭和55年の54.5から平成22年には74.4まで増加しています。

年齢3区分別人口構造と従属人口指数の推移



従属人口指数とは、生産年齢人口（15～64歳）に対する年少人口（0～14歳）、老年人口（65歳以上）の合計の比率で、働き手である生産年齢人口100人が年少人口と老年人口を何人支えているかを示すものです。

年齢5歳階級別人口

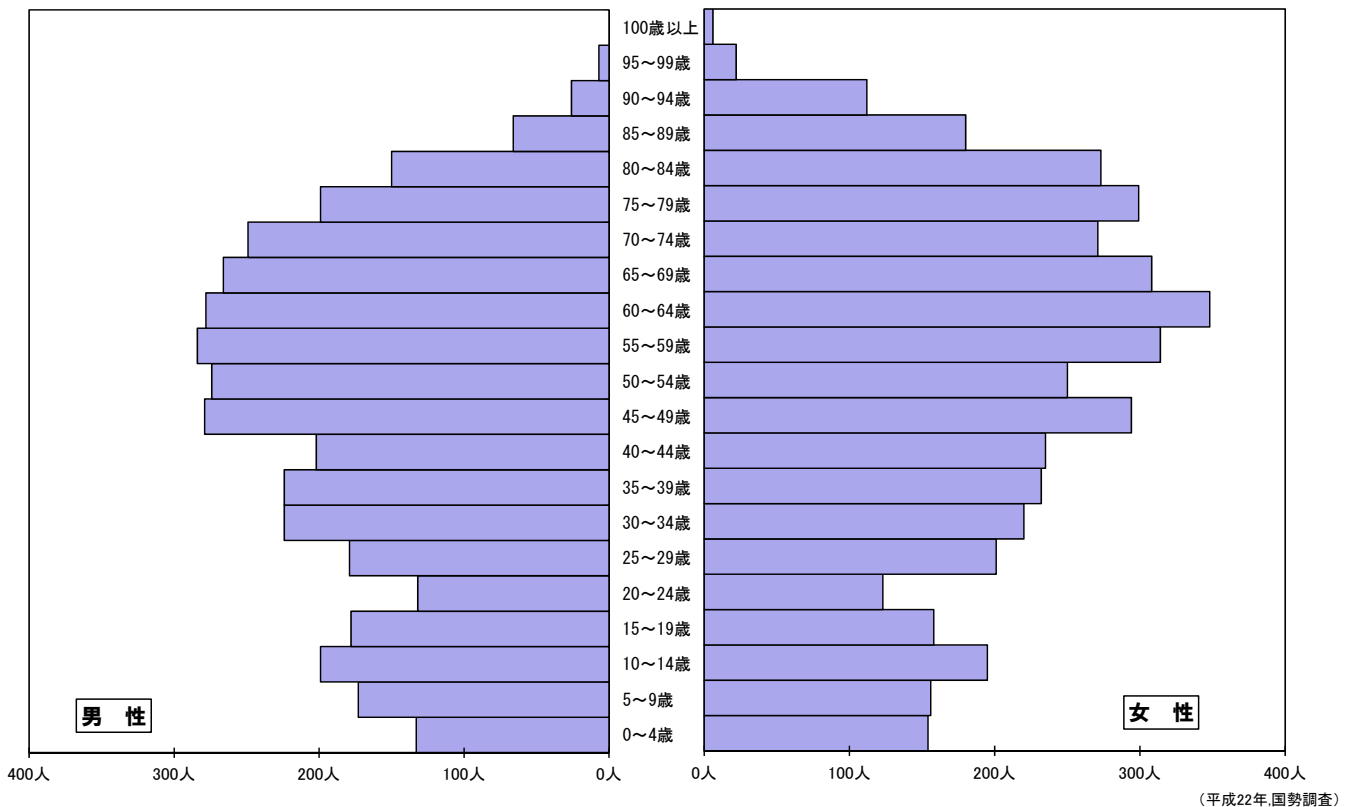
(人)

		昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	
人 口	年少人口	0～4歳	536	544	480	386	376	323	287
		5～9歳	666	597	562	506	391	397	329
		10～14歳	641	690	610	594	515	412	394
		計	1,843	1,831	1,652	1,486	1,282	1,132	1,010
	生産年齢人口	15～19歳	649	591	581	545	513	424	336
		20～24歳	500	545	467	427	414	343	255
		25～29歳	553	545	499	461	476	424	380
		30～34歳	585	620	532	571	449	474	444
		35～39歳	581	624	632	556	579	451	456
		40～44歳	592	581	634	629	552	586	437
		45～49歳	646	567	568	638	612	543	573
		50～64歳	1,611	1,778	1,781	1,730	1,767	1,799	1,748
	計	5,717	5,851	5,694	5,557	5,362	5,044	4,629	
	老年人口	65～74歳	744	760	891	1,082	1,171	1,094	1,094
		75歳以上	528	598	683	794	987	1,192	1,340
計		1,272	1,358	1,574	1,876	2,158	2,286	2,434	
年齢不詳		0	2	0	0	0	0	4	
総人口		8,832	9,042	8,920	8,919	8,802	8,462	8,077	
構 成 比	年少人口	0～14歳	20.9%	20.3%	18.5%	16.7%	14.6%	13.4%	12.5%
	生産年齢人口	15～64歳	64.7%	64.7%	63.8%	62.3%	60.9%	59.6%	57.3%
	老年人口	65歳以上	14.4%	15.0%	17.6%	21.0%	24.5%	27.0%	30.1%

(国勢調査)

平成22年の美浜町の5歳階級別の人口構造をみると、女性は団塊の世代を含む60～64歳の人口の割合が最も大きく、男性はその下の世代である55～59歳が最も大きくなっており、今後さらに高齢化が進むことが予測されます。

美浜町の5歳階級別人口構造

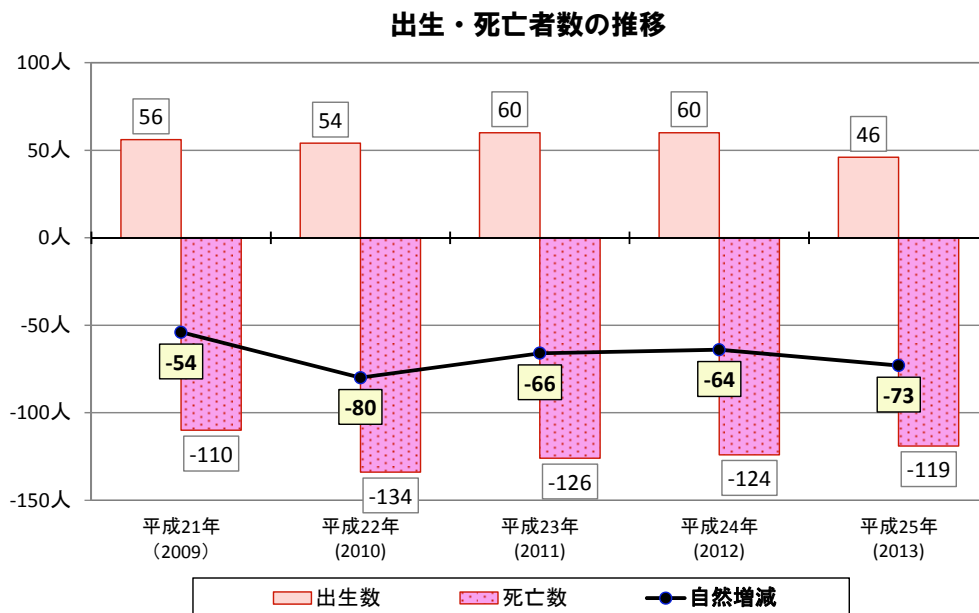


(平成22年国勢調査)

(3) 人口動態

① 自然動態

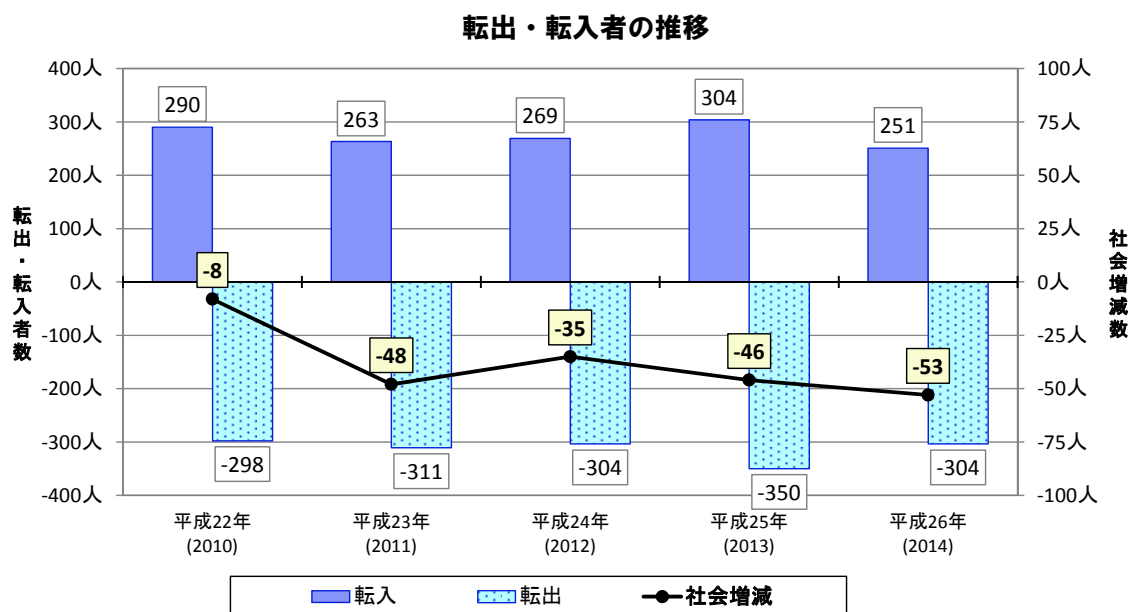
平成 21～25 年の5年間の出生・死亡者数をみると、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向となっており、その結果自然増減は 100 人弱のマイナスとなっています。



(人口動態統計)

② 社会動態

平成 22～26 年の5年間の転出・転入者数をみると、多少の振幅はあるものの、転出者数・転入者数ともにほぼ横ばいで推移しているため、社会増減もマイナスの位置でほぼ横ばいの推移となっています。

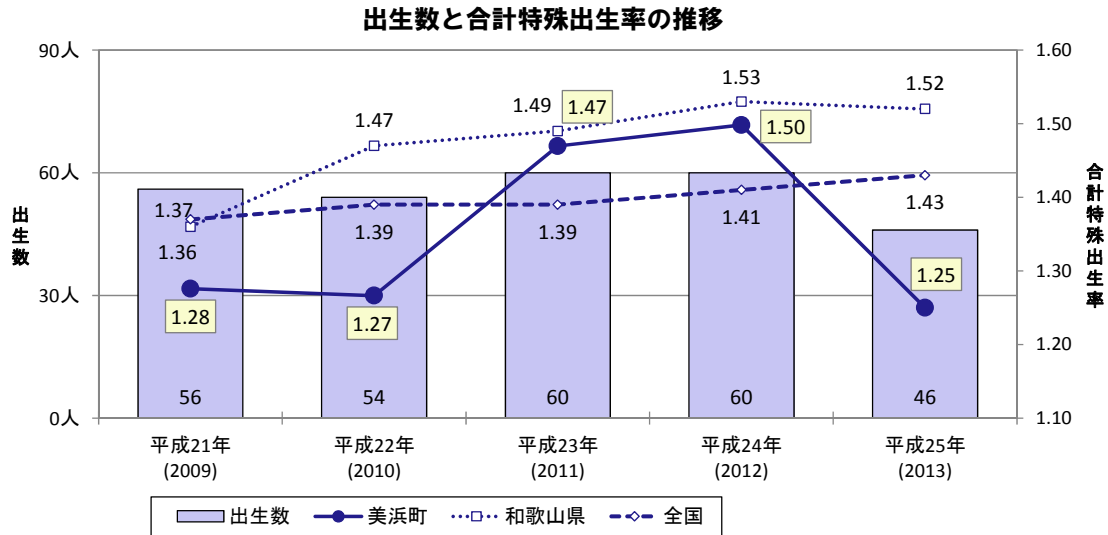


(住民基本台帳)

(4) 要因別分析

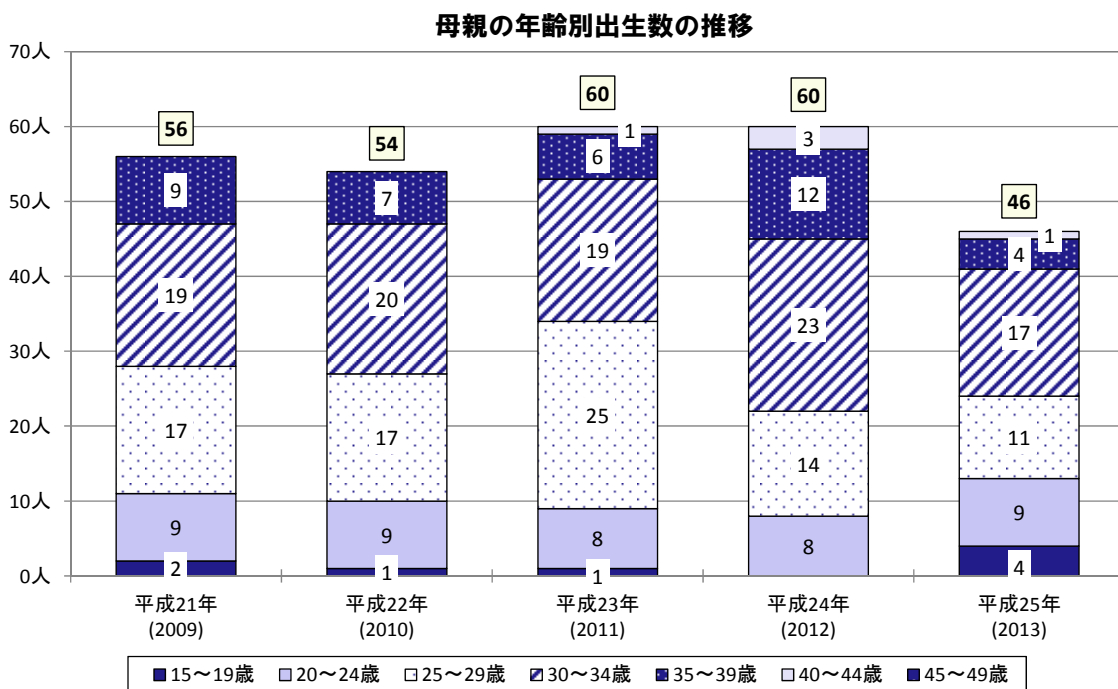
① 出生の状況

平成 21～25 年の5年間の合計特殊出生率の推移をみると、全国・和歌山県は、増加傾向で推移していますが、美浜町は平成 24 年までは増加傾向でしたが、平成 25 年に大きく減少し、国、和歌山県に比べ低い 1.25 となっています。



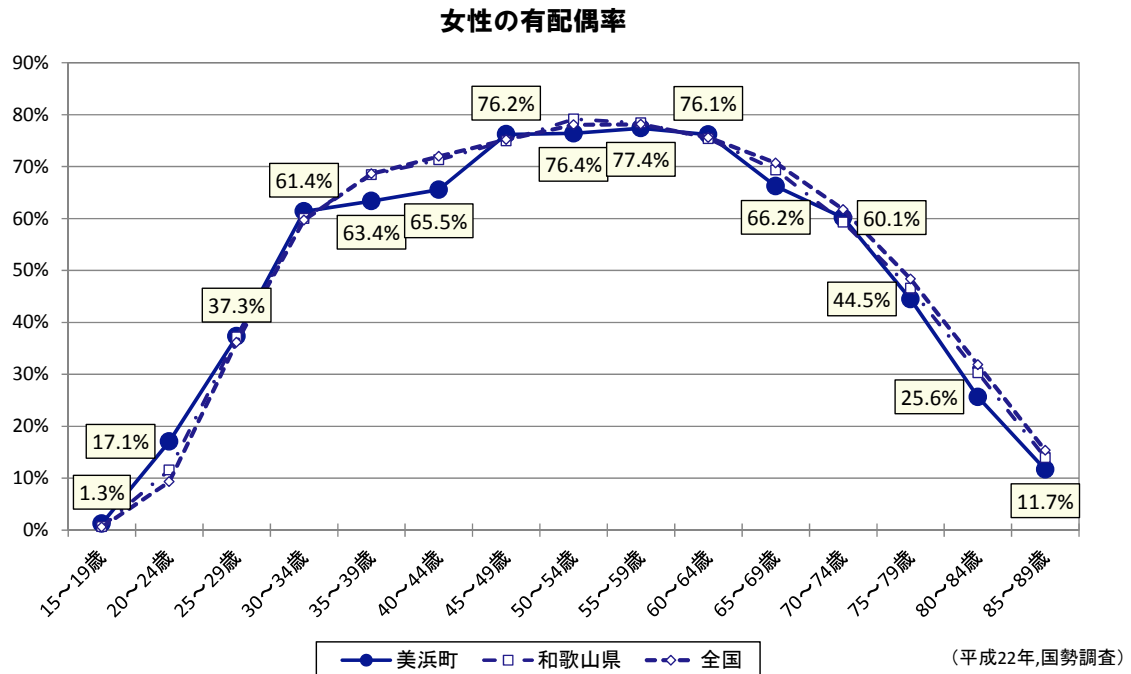
美浜町の合計特殊出生率は、人口動態統計による母親の年齢5歳階級別出生数を住民基本台帳(3月31日付)による15～49歳の5歳階級別の女性人口で除した値の合計

母親の年齢別出生数の推移をみると、平成 25 年は、特に 30 歳代の母親の出生数が大幅に減少しています。



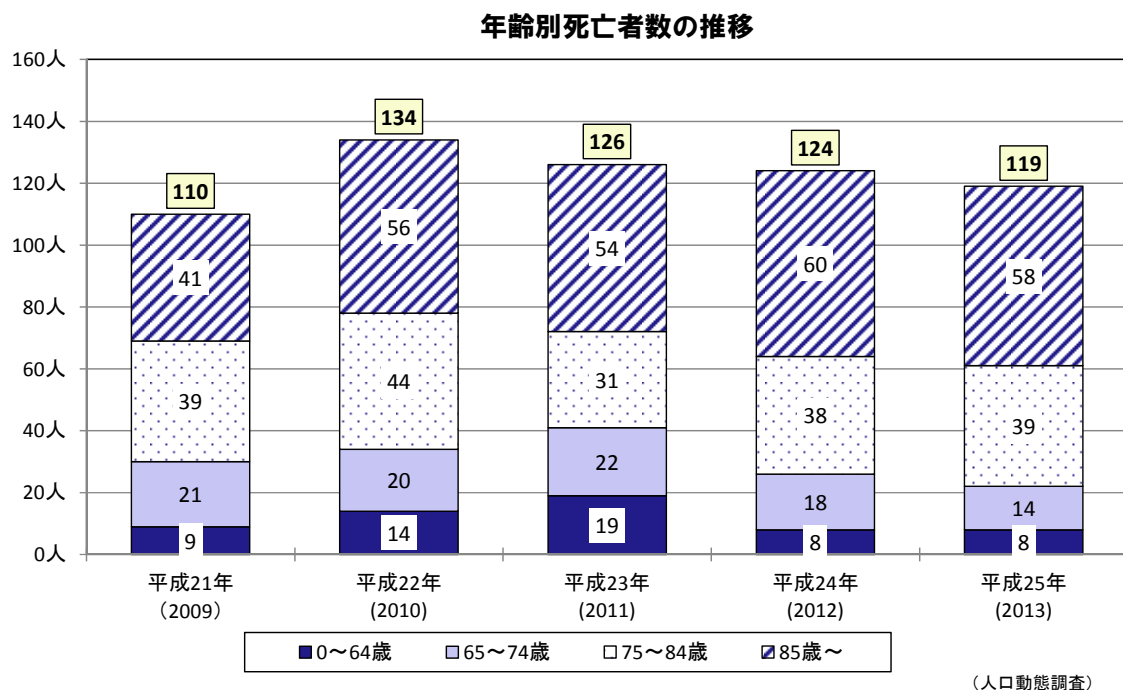
平成 22 年の女性の有配偶率を全国・和歌山県・美浜町で比較すると、出生数が多い 25～34 歳の美浜町の有配偶率は、国や和歌山県とほぼ同率になっています。

我が国では出産の多くが嫡出子であることから、“25～34 歳”の女性の有配偶率が高いことは、出生数に影響があると思われます。



② 死亡の状況

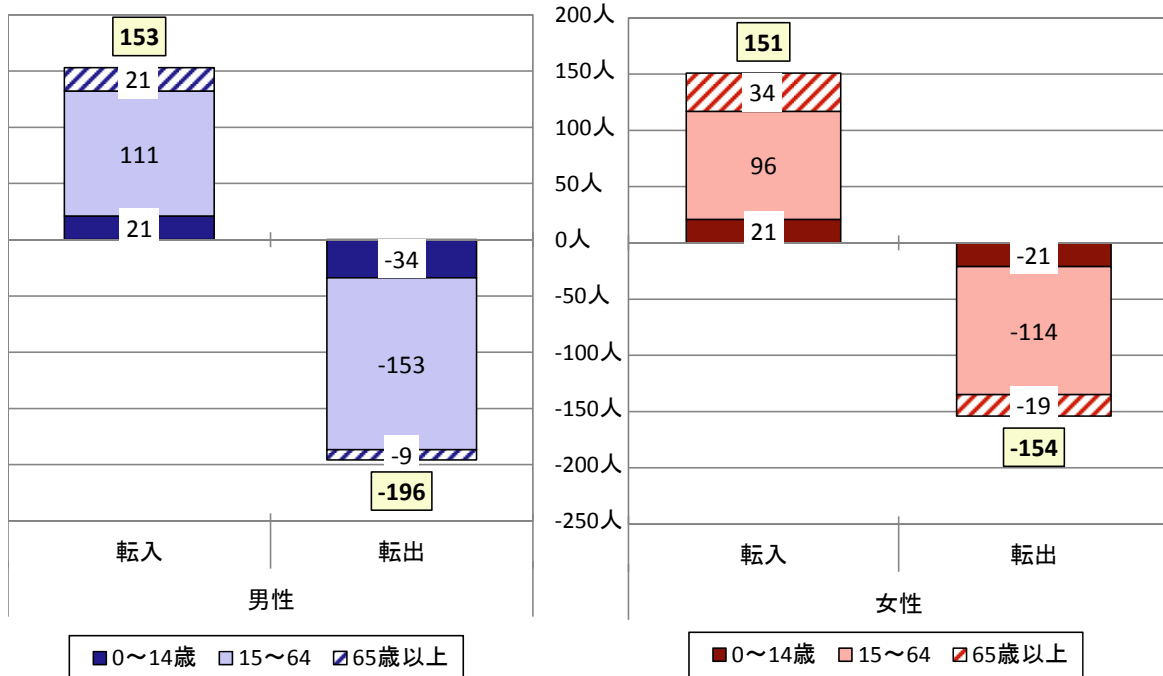
平成 21～25 年の5年間の年齢別死亡者数をみると、各年 110～140 人で推移しており、85 歳以上が占める割合が高い状況です。



③ 転入・転出の状況

平成 25 年の転入・転出の状況を性別・年齢3区分別にみると、男女ともに“65 歳以上”のみが、転入超過となっており、女性の“0～14 歳”は均衡、その他は、転出超過となっています。

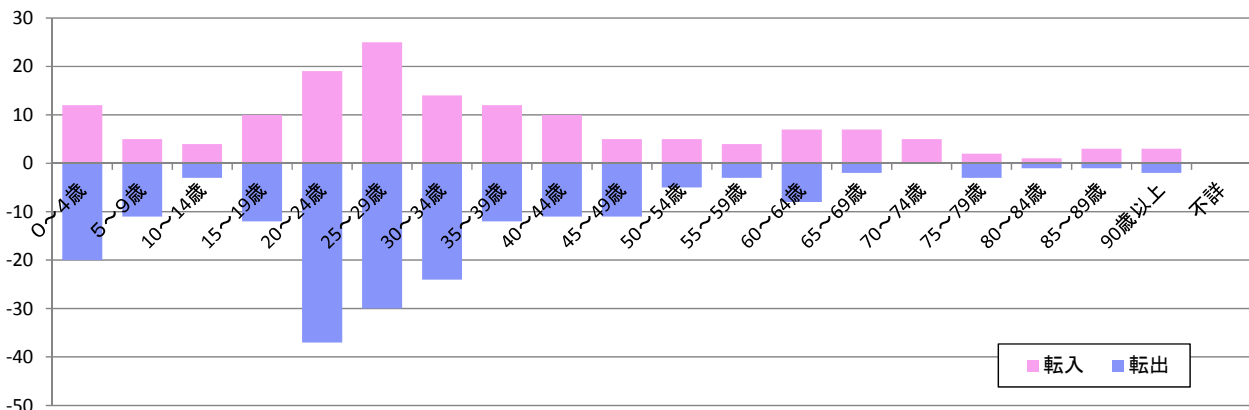
性別・年齢3区分別の転入・転出の状況



(平成25年,住民基本台帳)

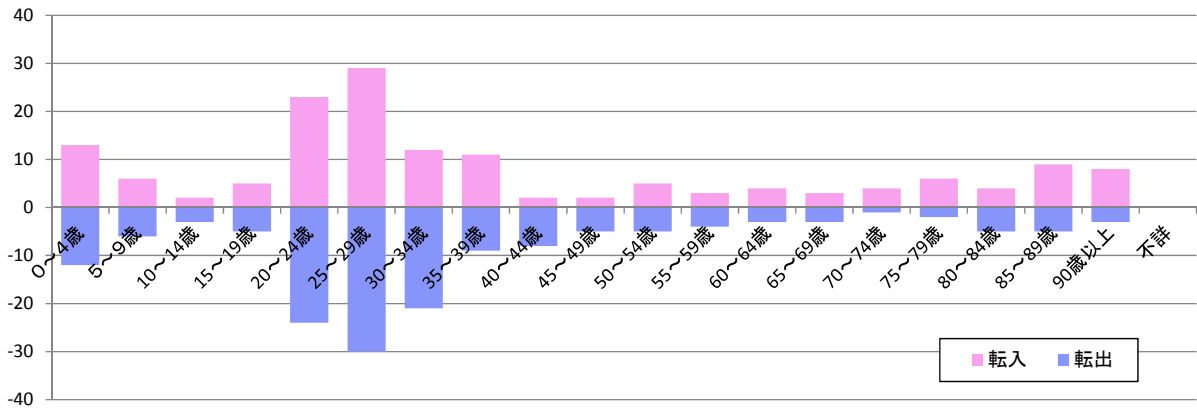
また、平成 25 年の転入・転出の差である純移動数について、性別・年齢 5 歳階級別にみると、男女ともに 20 代、30 代での移動が中心となっており、特に男性では“20～24 歳”で大幅な転出超過となっています。これは進学、就職、結婚等のライフイベントによる移動が要因であると考えられます。

年齢階級別 転入・転出の状況（男性）



(平成25年,住民基本台帳)

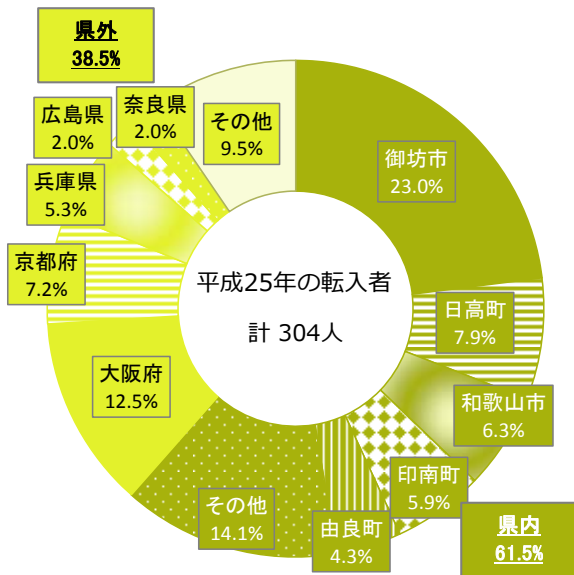
年齢階級別 転入・転出の状況（女性）



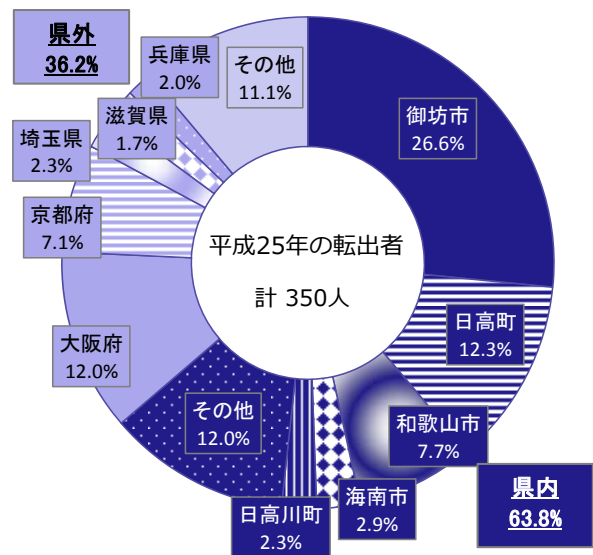
(平成25年,住民基本台帳)

平成 25 年の転入・転出の状況を居住地別にみると、県内では転入・転出共に御坊市が最も多く、次いで日高町、和歌山市となっており、これらの都市とのつながりが強いことがわかります。県外では、転入・転出ともに大阪府が最も多く全体の 1 割を超えています。

転入の状況



転出の状況



(平成 25 年,住民基本台帳)

(5) その他の分析

① 通勤・通学の状況

平成 22 年の町内常住の通勤・通学者 3,764 人の通勤・通学先についてみると、町内に通勤・通学している人が 1,416 人 (37.6%)、他市区町村が 2,348 人 (62.4%) となっています。

美浜町から他市区町村への通勤・通学先は、御坊市が最も多い 1,349 人 (57.5%)、次いで和歌山市が 179 人 (7.6%)、日高川町が 156 人 (6.6%) の順となっています。

他市区町村から美浜町に通勤・通学している人をみると、御坊市から通勤・通学している人が 367 人 (41.4%)、次いで日高町が 163 人 (18.4%) となっています。

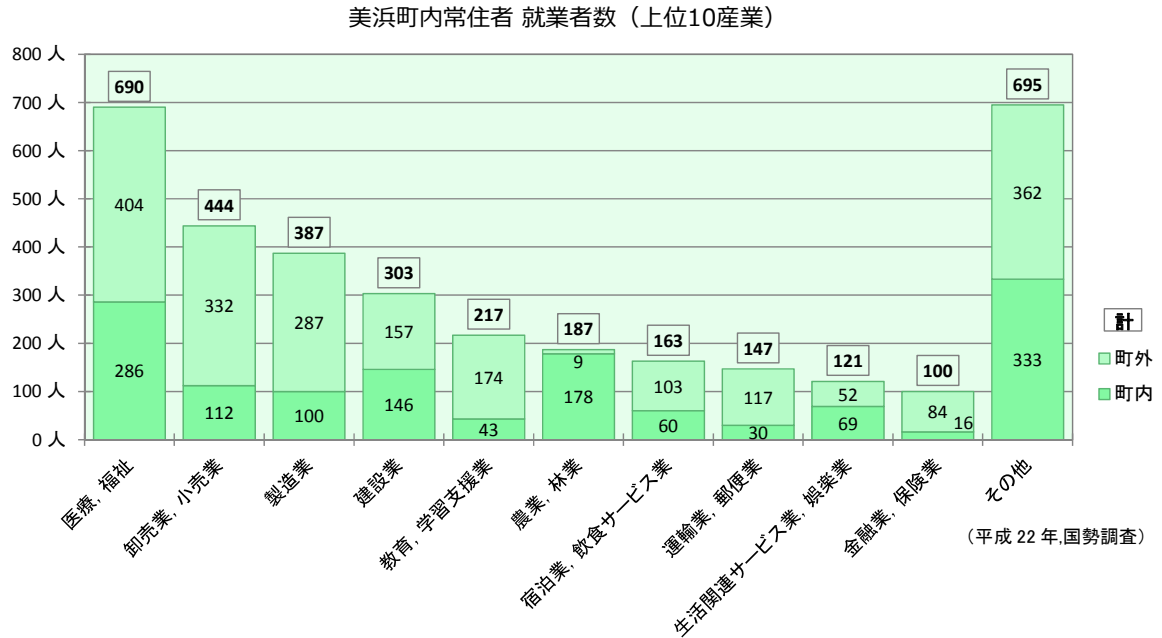
(単位:人)

区分	町内		他市区町村		計
	自宅で従業	自宅外へ通勤・通学	県内の他市町村へ通勤・通学	県外の他市区町村へ通勤・通学	
男	269	506	1,274	36	2,085
女	204	437	1,027	11	1,679
小計	473	943	2,301	47	
計	1,416 37.6%		2,348 62.4%		3,764

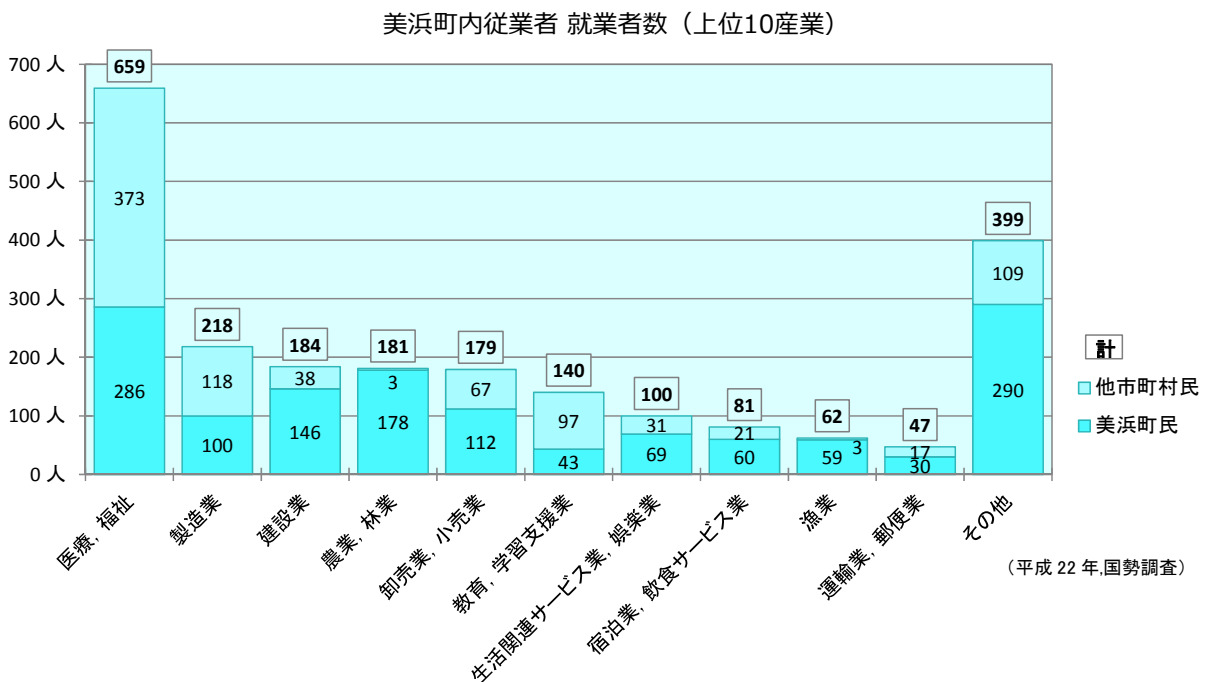
区分	美浜町から他市区町村へ				他市区町村から美浜町へ				
	総数	構成比	就業者	通学者	総数	構成比	就業者	通学者	
総数	2,348	100.0%	2,081	267	887	100.0%	877	10	
県内	御坊市	1,349	57.5%	1,206	143	367	41.4%	365	2
	和歌山市	179	7.6%	124	55	13	1.5%	13	-
	日高川町	156	6.6%	151	5	105	11.8%	103	2
	日高町	129	5.5%	129	0	163	18.4%	161	2
	由良町	98	4.2%	97	1	58	6.5%	58	-
	印南町	93	4.0%	93	0	52	5.9%	52	-
	田辺市	70	3.0%	65	5	18	2.0%	17	1
	みなべ町	48	2.0%	33	15	16	1.8%	15	1
	有田川町	41	1.7%	30	11	17	1.9%	17	-
	有田市	35	1.5%	29	6	10	1.1%	10	-
	その他	103	4.4%	87	16	64	7.2%	62	2
	計	2,301	98.0%	2,044	257	883	99.5%	873	10
県外	大阪府	35	1.5%	27	8	1	0.1%	1	0
	その他	4	0.2%	3	1	3	0.3%	3	0
	計	39	1.7%	30	9	4	0.5%	4	0
不詳	8	0.3%	7	1	0	0.0%	0	0	

② 産業別就業者数

平成 22 年の美浜町常住の就業者について産業分類別にみると、医療・福祉が 690 人と最も多く、そのうち 286 人（41.4%）が町内で就業しています。次いで、卸売業・小売業が 444 人で、そのうち 112 人（25.2%）が町内で就業している状況です。



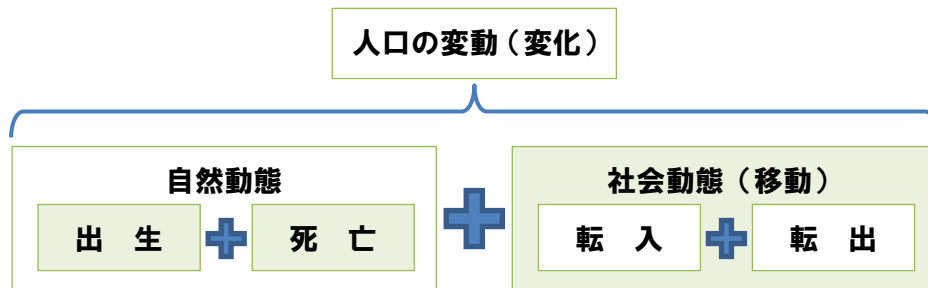
また、平成 22 年の美浜町内従業者数について産業分類別にみると、医療・福祉が 659 人と最も多く、そのうち他市町村常住者は 373 人（56.6%）を占めています。次いで、製造業が 218 人で、そのうち他市町村常住の就業者は 118 人（54.1%）となっています。



2. 将来人口の見通し

(1) 趨勢人口と戦略人口

人口の変動（変化）は、出生・死亡・移動の3つの要素の変化によるものです。



社会動態（移動）は、転入及び転出による現象ですが、人口推計上はこれを区別することなく、転入と転出の差引の結果としての（純）移動数として考えます。

したがって、将来の人口推計を行うにあたっては、これらの人口変動の3要素の将来値をいかに設定するかがポイントとなります。

人口推計は、上記の考え方を踏まえ、これに対応し得るコーホート要因法により行うものとします。

具体の推計にあたっては、国が作成・配布した人口推計ツールを用いています。

(2) 人口推計のシミュレーション別概要

ここでは、以下に示す3種類のシミュレーションを行っています。

いずれの推計についても、2010年の国勢調査による人口を基準人口として、2015年以降の推計を行っています。

[国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という）推計準拠＝趨勢人口]

○社人研による推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	原則として、2010年の全国の子ども女性比（15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比）と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が平成27（2015）年以降2040年まで一定として市町村ごとに仮定。
死亡	原則として、55～59歳→60～64歳以下では、全国と都道府県の2005→2010年の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用。60～64歳→65～69歳以上では、これに加えて、都道府県と市町村の2000→2005年の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用。
移動	原則として、2005→2010年の国勢調査（実績）に基づいて算出された純移動率が、2015→2020年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を一定と仮定。

[Sim1：社人研推計+出生率上昇]

○国提示の基本的シミュレーションで、社人研による推計をベースに、出生率の上昇を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準（2.1）まで上昇、その後は2.1を維持するものと仮定。
死亡	社人研推計と同様。
移動	社人研推計と同様。

[Sim2：Sim1+移動ゼロ]

○国提示の基本的シミュレーションで、Sim1をベースに、移動がゼロ（均衡）を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準（2.1）まで上昇、その後は2.1を維持するものと仮定。
死亡	社人研推計と同様。
移動	移動（純移動率）がゼロ（均衡）で推移すると仮定。

[Sim3：社人研推計+出生率上昇（年率5.0%）+定住化（純定住率⇒1.4）]

○町独自推計で、社人研推計をベースに、出生率が2.1まで上昇し、2060年に人口5,000人規模の維持を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	合計特殊出生率が2015年以降、一定の比率（年率5.0%）で上昇するものと仮定（合計特殊出生率の上限2.1設定）。
死亡	社人研推計と同様。
移動	各年齢層を通じたライフサイクルでの純定住率（各年齢層の純定住率の積）が2040年までに男女ともに1.0にまで上昇、さらに2060年までに1.4にまで上昇することを仮定。

○社人研推計における純移動率から算出される純定住率は次のとおりであり、各年齢層の純定住率の積（総積）が男女ともに1未満となっていることがわかります。

○これは、出生減少や死亡による人口変化がない場合においても、移動によって人口が減少していく構造であることを示しています。

〈社人研設定から算出される純定住率設定〉

純定住率・男

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年
0～4歳→5～9歳	0.97995	0.98340	0.98401	0.98409	0.98409	0.98405	0.98405	0.98405	0.98405	0.98405
5～9歳→10～14歳	0.98317	0.98616	0.98691	0.98706	0.98708	0.98704	0.98704	0.98704	0.98704	0.98704
10～14歳→15～19歳	0.86373	0.90196	0.90185	0.90146	0.90141	0.90122	0.90122	0.90122	0.90122	0.90122
15～19歳→20～24歳	0.72375	0.81198	0.81232	0.81168	0.81064	0.81030	0.81030	0.81030	0.81030	0.81030
20～24歳→25～29歳	1.13030	1.10215	1.09413	1.09872	1.11795	1.11761	1.11761	1.11761	1.11761	1.11761
25～29歳→30～34歳	1.04905	1.04200	1.04346	1.03966	1.04133	1.04992	1.04992	1.04992	1.04992	1.04992
30～34歳→35～39歳	0.99180	0.99403	0.99491	0.99475	0.99461	0.99440	0.99440	0.99440	0.99440	0.99440
35～39歳→40～44歳	1.00970	1.00393	1.00497	1.00566	1.00560	1.00457	1.00457	1.00457	1.00457	1.00457
40～44歳→45～49歳	1.01194	1.00733	1.00580	1.00624	1.00700	1.00713	1.00713	1.00713	1.00713	1.00713
45～49歳→50～54歳	0.98651	0.98926	0.98914	0.98901	0.98905	0.98904	0.98904	0.98904	0.98904	0.98904
50～54歳→55～59歳	0.99336	0.99393	0.99484	0.99462	0.99423	0.99444	0.99444	0.99444	0.99444	0.99444
55～59歳→60～64歳	1.03635	1.02156	1.02373	1.04040	1.04043	1.03354	1.03354	1.03354	1.03354	1.03354
60～64歳→65～69歳	1.01929	1.00809	1.00768	1.00870	1.01590	1.01560	1.01560	1.01560	1.01560	1.01560
65～69歳→70～74歳	1.02700	1.02446	1.01772	1.01670	1.01810	1.02914	1.02914	1.02914	1.02914	1.02914
70～74歳→75～79歳	1.00044	0.99922	1.00320	0.99881	0.99926	0.99999	0.99999	0.99999	0.99999	0.99999
75～79歳→80～84歳	1.02883	1.01912	1.02030	1.02996	1.01941	1.01909	1.01909	1.01909	1.01909	1.01909
80～84歳→85～89歳	0.96700	0.97530	0.97356	0.97135	0.97674	0.97035	0.97035	0.97035	0.97035	0.97035
85歳以上→90歳以上	1.01914	1.02507	1.01820	1.01024	1.00756	1.01660	1.01660	1.01660	1.01660	1.01660
	0.78044	0.86596	0.85623	0.86591	0.88286	0.89435	0.89435	0.89435	0.89435	0.89435

←総積

純定住率・女

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年
0～4歳→5～9歳	1.02506	1.02109	1.02294	1.02309	1.02450	1.02659	1.02659	1.02659	1.02659	1.02659
5～9歳→10～14歳	0.99464	0.99442	0.99528	0.99552	0.99555	0.99554	0.99554	0.99554	0.99554	0.99554
10～14歳→15～19歳	0.86551	0.90430	0.90419	0.90398	0.90398	0.90374	0.90374	0.90374	0.90374	0.90374
15～19歳→20～24歳	0.74714	0.83045	0.83135	0.83112	0.83036	0.83001	0.83001	0.83001	0.83001	0.83001
20～24歳→25～29歳	1.07752	1.06493	1.05722	1.06332	1.06029	1.06975	1.06975	1.06975	1.06975	1.06975
25～29歳→30～34歳	1.01292	1.01665	1.01886	1.01557	1.01731	1.01589	1.01589	1.01589	1.01589	1.01589
30～34歳→35～39歳	0.94997	0.96359	0.96484	0.96487	0.96478	0.96460	0.96460	0.96460	0.96460	0.96460
35～39歳→40～44歳	0.94941	0.96284	0.96358	0.96368	0.96374	0.96375	0.96375	0.96375	0.96375	0.96375
40～44歳→45～49歳	0.96816	0.97633	0.97655	0.97659	0.97659	0.97664	0.97664	0.97664	0.97664	0.97664
45～49歳→50～54歳	0.97230	0.97925	0.97922	0.97921	0.97923	0.97920	0.97920	0.97920	0.97920	0.97920
50～54歳→55～59歳	1.00748	1.00346	1.00675	1.00865	1.00768	1.00687	1.00687	1.00687	1.00687	1.00687
55～59歳→60～64歳	1.02888	1.02171	1.01992	1.02943	1.03520	1.03244	1.03244	1.03244	1.03244	1.03244
60～64歳→65～69歳	0.99438	0.99498	0.99516	0.99530	0.99538	0.99520	0.99520	0.99520	0.99520	0.99520
65～69歳→70～74歳	1.00751	1.00602	1.00437	1.00539	1.00483	1.00791	1.00791	1.00791	1.00791	1.00791
70～74歳→75～79歳	1.00032	0.99942	1.00111	0.99889	0.99978	0.99970	0.99970	0.99970	0.99970	0.99970
75～79歳→80～84歳	1.01951	1.01822	1.01773	1.02164	1.01612	1.01950	1.01950	1.01950	1.01950	1.01950
80～84歳→85～89歳	0.98732	0.98986	0.98932	0.98805	0.99207	0.98677	0.98677	0.98677	0.98677	0.98677
85歳以上→90歳以上	1.08179	1.07047	1.07035	1.06863	1.07051	1.08413	1.08413	1.08413	1.08413	1.08413
	0.69109	0.81036	0.81150	0.82262	0.82656	0.84208	0.84208	0.84208	0.84208	0.84208

←総積

○社人研推計から算出される純定住率設定をベースに、各年齢層の純定住率の積（総積）が2060年までに1.4にまで上昇することを仮定したSim3の純定住率は次のとおりです。

○全国的に総移動数が縮小傾向にあることを前提にしつつ、また、Sim2設定のように移動ゼロといった不自然な仮定でもない設定となっています。

○Sim3では、下記の純定住率に基づき、純移動率を逆算算出して採用しています。

〈純定住率の積（総積）が2060年に1.4まで上昇する仮定に基づく純定住率設定〉

純定住率・男

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年	
0～4歳→5～9歳	0.97995	0.98043	0.98436	0.98654	0.98820	0.99017	0.99481	0.99947	1.00415	1.00886	
5～9歳→10～14歳	0.98317	0.98318	0.98727	0.98952	0.99120	0.99318	0.99783	1.00251	1.00720	1.01192	
10～14歳→15～19歳	0.86373	0.89924	0.90217	0.90371	0.90517	0.90683	0.91108	0.91534	0.91963	0.92394	
15～19歳→20～24歳	0.72375	0.80953	0.81261	0.81370	0.81403	0.81534	0.81916	0.82300	0.82685	0.83073	
20～24歳→25～29歳	1.13030	1.09882	1.09452	1.10146	1.12262	1.12456	1.12983	1.13512	1.14044	1.14578	
25～29歳→30～34歳	1.04905	1.03886	1.04384	1.04225	1.04568	1.05645	1.06140	1.06637	1.07137	1.07639	
30～34歳→35～39歳	0.99180	0.99103	0.99527	0.99723	0.99876	1.00059	1.00527	1.00998	1.01471	1.01947	
35～39歳→40～44歳	1.00970	1.00090	1.00533	1.00817	1.00980	1.01082	1.01556	1.02031	1.02509	1.02989	
40～44歳→45～49歳	1.01194	1.00429	1.00616	1.00875	1.01120	1.01340	1.01814	1.02291	1.02770	1.03252	
45～49歳→50～54歳	0.98651	0.98627	0.98950	0.99148	0.99318	0.99519	0.99986	1.00454	1.00925	1.01397	
50～54歳→55～59歳	0.99336	0.99093	0.99520	0.99710	0.99838	1.00063	1.00532	1.01002	1.01476	1.01951	
55～59歳→60～64歳	1.03635	1.01848	1.02410	1.04299	1.04477	1.03997	1.04484	1.04974	1.05465	1.05959	
60～64歳→65～69歳	1.01929	1.00505	1.00804	1.01121	1.02014	1.02192	1.02671	1.03152	1.03635	1.04120	
65～69歳→70～74歳	1.02700	1.02137	1.01809	1.01923	1.02235	1.03554	1.04039	1.04527	1.05016	1.05508	
70～74歳→75～79歳	1.00044	0.99620	1.00356	1.00130	1.00343	1.00621	1.01093	1.01566	1.02042	1.02520	
75～79歳→80～84歳	1.02883	1.01604	1.02067	1.03253	1.02367	1.02543	1.03023	1.03506	1.03991	1.04478	
80～84歳→85～89歳	0.96700	0.97236	0.97391	0.97377	0.98082	0.97639	0.98096	0.98556	0.99017	0.99481	
85歳以上→90歳以上	1.01914	1.02198	1.01857	1.01276	1.01177	1.02293	1.02772	1.03253	1.03737	1.04223	
	0.78044	0.820107	0.861793	0.905598	0.951629	1	1.087757	1.183216	1.287052	1.4	←総積の設定

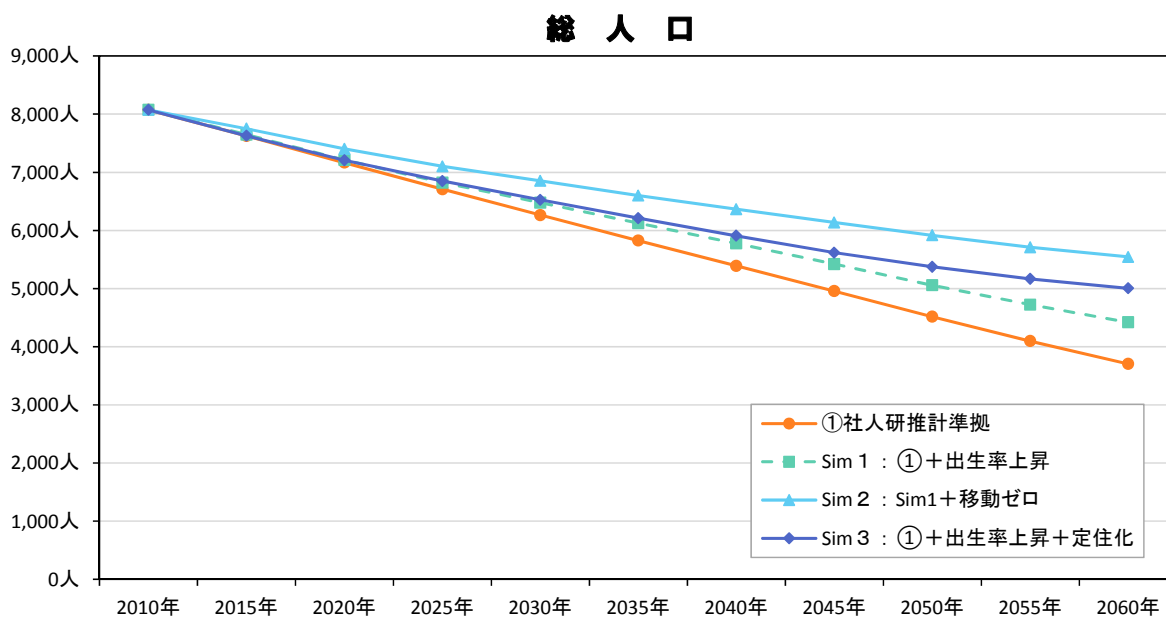
純定住率・女

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年	
0～4歳→5～9歳	1.02506	1.01626	1.02221	1.02579	1.03116	1.03644	1.04129	1.04617	1.05107	1.05600	
5～9歳→10～14歳	0.99464	0.98972	0.99457	0.99815	1.00202	1.00509	1.00980	1.01453	1.01928	1.02406	
10～14歳→15～19歳	0.86551	0.90002	0.90355	0.90637	0.90985	0.91241	0.91668	0.92098	0.92529	0.92963	
15～19歳→20～24歳	0.74714	0.82652	0.83076	0.83331	0.83576	0.83797	0.84190	0.84584	0.84980	0.85379	
20～24歳→25～29歳	1.07752	1.05990	1.05647	1.06613	1.06718	1.08001	1.08507	1.09016	1.09526	1.10039	
25～29歳→30～34歳	1.01292	1.01184	1.01813	1.01825	1.02392	1.02564	1.03044	1.03527	1.04012	1.04499	
30～34歳→35～39歳	0.94997	0.95903	0.96415	0.96742	0.97105	0.97385	0.97842	0.98300	0.98760	0.99223	
35～39歳→40～44歳	0.94941	0.95829	0.96289	0.96622	0.97000	0.97300	0.97755	0.98213	0.98673	0.99136	
40～44歳→45～49歳	0.96816	0.97171	0.97585	0.97917	0.98294	0.98601	0.99063	0.99527	0.99993	1.00462	
45～49歳→50～54歳	0.97230	0.97462	0.97852	0.98180	0.98559	0.98860	0.99323	0.99788	1.00255	1.00725	
50～54歳→55～59歳	1.00748	0.99872	1.00603	1.01131	1.01423	1.01653	1.02129	1.02608	1.03088	1.03571	
55～59歳→60～64歳	1.02888	1.01688	1.01919	1.03215	1.04193	1.04235	1.04723	1.05213	1.05706	1.06201	
60～64歳→65～69歳	0.99438	0.99028	0.99445	0.99793	1.00185	1.00475	1.00945	1.01418	1.01893	1.02371	
65～69歳→70～74歳	1.00751	1.00126	1.00365	1.00804	1.01136	1.01758	1.02235	1.02714	1.03195	1.03678	
70～74歳→75～79歳	1.00032	0.99469	1.00040	1.00153	1.00628	1.00929	1.01402	1.01877	1.02354	1.02834	
75～79歳→80～84歳	1.01951	1.01341	1.01701	1.02434	1.02272	1.02928	1.03410	1.03895	1.04381	1.04870	
80～84歳→85～89歳	0.98732	0.98518	0.98862	0.99066	0.99852	0.99624	1.00090	1.00559	1.01030	1.01504	
85歳以上→90歳以上	1.08179	1.06541	1.06959	1.07145	1.07747	1.09453	1.09966	1.10481	1.10998	1.11518	
	0.69109	0.744095	0.801163	0.862609	0.928768	1	1.087757	1.183216	1.287052	1.4	←総積の設定

(3) シミュレーション結果

○2060年では、“社人研推計”が最も少なく3,703人、出生率上昇、移動ゼロ想定 of “Sim 2”が最も多く5,544人となっています。

(※以下の2010年の人口について、国勢調査人口と若干の差異がありますが、これは年齢不詳人口4人を按分した際の整数化処理による誤差です。)



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	8,073	7,626	7,164	6,709	6,264	5,824	5,391	4,955	4,516	4,096	3,703
Sim 1 : ①+出生率上昇	8,073	7,647	7,210	6,823	6,477	6,123	5,777	5,420	5,057	4,723	4,420
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	8,073	7,749	7,402	7,101	6,852	6,599	6,364	6,136	5,916	5,710	5,544
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	8,073	7,628	7,206	6,849	6,525	6,212	5,907	5,617	5,372	5,166	5,004

① 出生数の見通し

○出生については、次のような合計特殊出生率の仮定に基づいています。

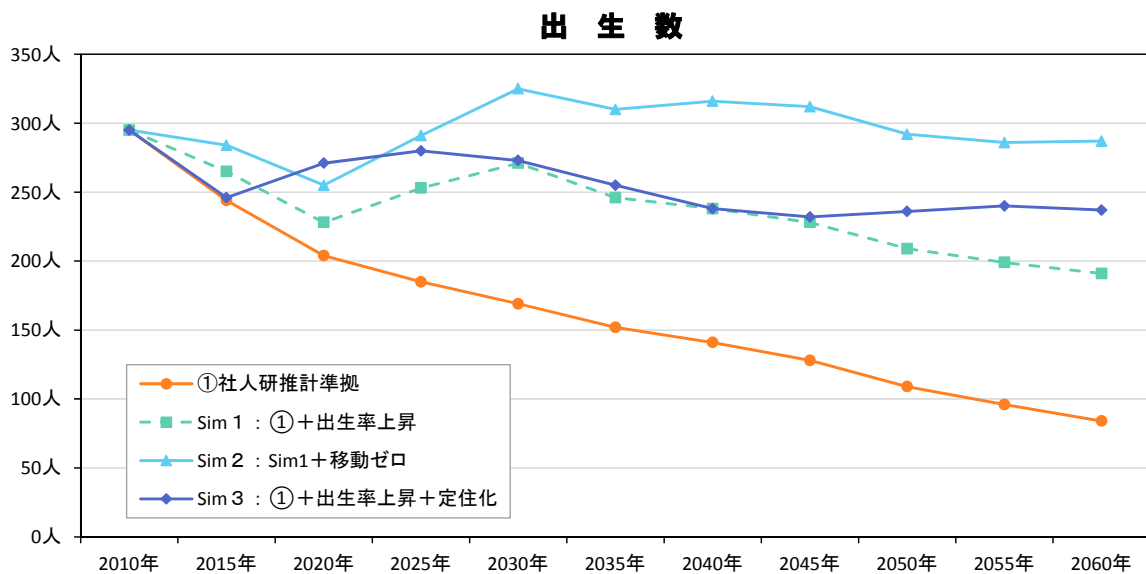
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	1.50	1.38	1.35	1.32	1.32	1.32	1.33	1.33	1.33	1.33	1.33
Sim 1 : ①+出生率上昇	1.50	1.50	1.50	1.80	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	1.50	1.50	1.50	1.80	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	1.50	1.50	1.91	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10

○出生数は、合計特殊出生率と15～49歳の女性人口との関係で変動します。

○“Sim 1”“Sim 2”では、2030年に合計特殊出生率が2.10に到達することを前提としているため、2030年までに出生数が大きく増加する推計となっています。

○さらに、“Sim 2”では、移動ゼロ、結果として転出による減少は想定されていないので、それに応じて15～49歳の女性人口も多くなるため、出生数がさらに多くなっています。

○“Sim 3”では、“Sim 1”“Sim 2”よりも早く合計特殊出生率が2.10に到達するため、2020年の出生数が大きく増加します。



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	295	244	204	185	169	152	141	128	109	96	84
Sim 1 : ①+出生率上昇	295	265	228	253	271	246	238	228	209	199	191
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	295	284	255	291	325	310	316	312	292	286	287
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	295	246	271	280	273	255	238	232	236	240	237

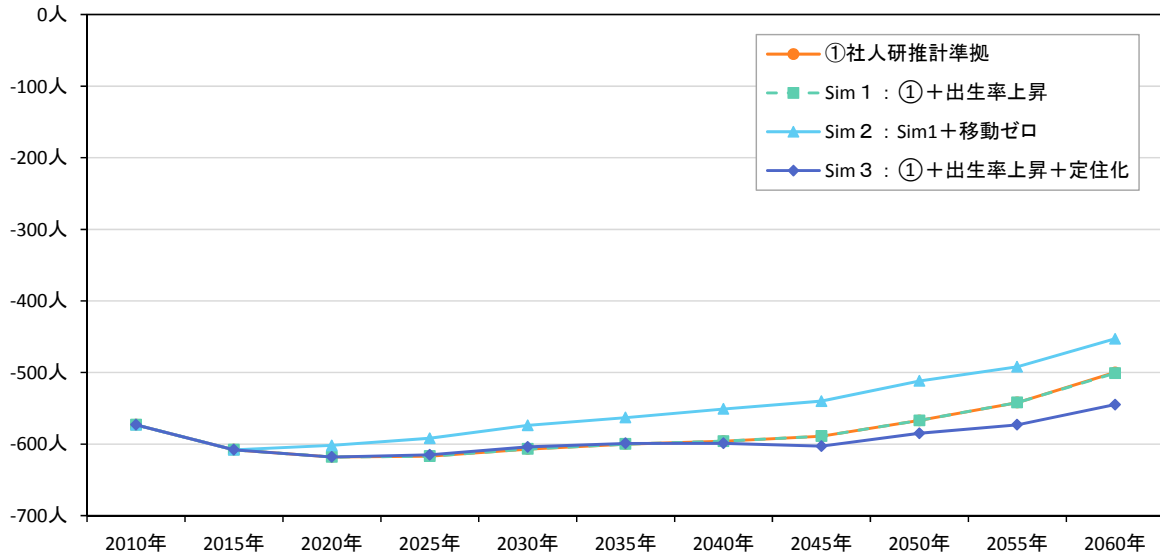
※2010年は実績値

② 死亡数の見通し

○死亡数は、性別・年齢別の生残率を用いて推計しますが、自治体単位での取組成果としてその変動を期待することは難しいため、すべてのシミュレーションにおいて同じ生残率を用いています。

○したがって、各シミュレーションによる微少な差異は、出生や移動に伴う人口の差異によるものです。

死 亡 数



(単位: 人)

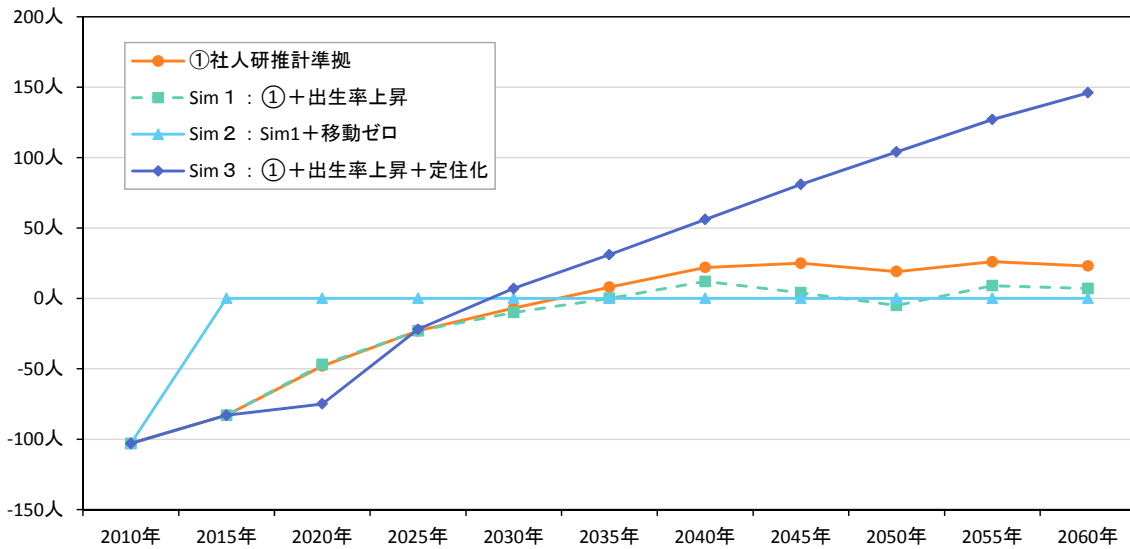
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	-573	-608	-618	-617	-607	-600	-596	-589	-567	-542	-500
Sim 1 : ①+出生率上昇	-573	-608	-618	-617	-607	-600	-596	-589	-567	-542	-501
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	-573	-608	-602	-592	-574	-563	-551	-540	-512	-492	-453
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	-573	-608	-618	-615	-604	-599	-599	-603	-585	-573	-545

※2010年は実績値

③ 移動数の見通し

- “社人研推計” “Sim1” では、全国的な総移動数の縮小傾向を背景に、移動数が縮小していく推計となっており、結果的には2035年以降、転入超過が予測されています。
- “Sim2” では、移動ゼロを想定しています。
- “Sim3” では、純移動率に基づく純定住率という概念を用いた上で、この純定住率の緩やかな上昇を想定しており、結果として、現状の転出超過から2030年には転入超過への逆転を想定しています。

移 動 数



(単位: 人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	-103	-83	-48	-23	-7	8	22	25	19	26	23
Sim 1 : ①+出生率上昇	-103	-83	-47	-23	-10	0	12	4	-5	9	7
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	-103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	-103	-83	-75	-22	7	31	56	81	104	127	146

※2010年は実績値

④ 年齢別人口

年齢別人口

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
① 社人研推計準拠	8,073	7,626	7,164	6,709	6,264	5,824	5,391	4,955	4,516	4,096	3,703
0～14歳	1,010	857	733	630	557	506	463	422	379	333	288
15～39歳	1,871	1,687	1,508	1,355	1,264	1,157	1,005	882	774	693	632
40～64歳	2,758	2,541	2,325	2,160	1,878	1,714	1,575	1,419	1,276	1,191	1,089
65～74歳	1,094	1,151	1,153	1,040	990	903	799	784	718	589	494
75歳以上	1,340	1,390	1,445	1,524	1,575	1,544	1,549	1,448	1,369	1,290	1,200
Sim1：①+出生率上昇	8,073	7,647	7,210	6,823	6,477	6,123	5,777	5,420	5,057	4,723	4,420
0～14歳	1,010	878	779	744	750	769	754	711	674	635	599
15～39歳	1,871	1,687	1,508	1,355	1,284	1,193	1,100	1,058	1,020	999	1,001
40～64歳	2,758	2,541	2,325	2,160	1,878	1,714	1,575	1,419	1,276	1,210	1,126
65～74歳	1,094	1,151	1,153	1,040	990	903	799	784	718	589	494
75歳以上	1,340	1,390	1,445	1,524	1,575	1,544	1,549	1,448	1,369	1,290	1,200
Sim2：Sim1+移動ゼロ	8,073	7,749	7,402	7,101	6,852	6,599	6,364	6,136	5,916	5,710	5,544
0～14歳	1,010	900	826	830	871	926	951	938	920	890	865
15～39歳	1,871	1,806	1,691	1,597	1,625	1,545	1,444	1,442	1,464	1,497	1,553
40～64歳	2,758	2,547	2,374	2,222	1,907	1,805	1,746	1,640	1,554	1,579	1,500
65～74歳	1,094	1,137	1,123	1,006	975	892	791	793	724	557	522
75歳以上	1,340	1,359	1,388	1,446	1,474	1,431	1,432	1,323	1,254	1,187	1,104
Sim3：①+出生率上昇+定住化	8,073	7,628	7,206	6,849	6,525	6,212	5,907	5,617	5,372	5,166	5,004
0～14歳	1,010	859	800	794	825	810	771	733	717	722	730
15～39歳	1,871	1,687	1,502	1,349	1,263	1,225	1,159	1,131	1,126	1,141	1,132
40～64歳	2,758	2,541	2,318	2,153	1,875	1,720	1,592	1,452	1,330	1,273	1,258
65～74歳	1,094	1,151	1,149	1,037	989	905	810	806	751	628	537
75歳以上	1,340	1,390	1,437	1,516	1,573	1,552	1,575	1,495	1,448	1,402	1,347

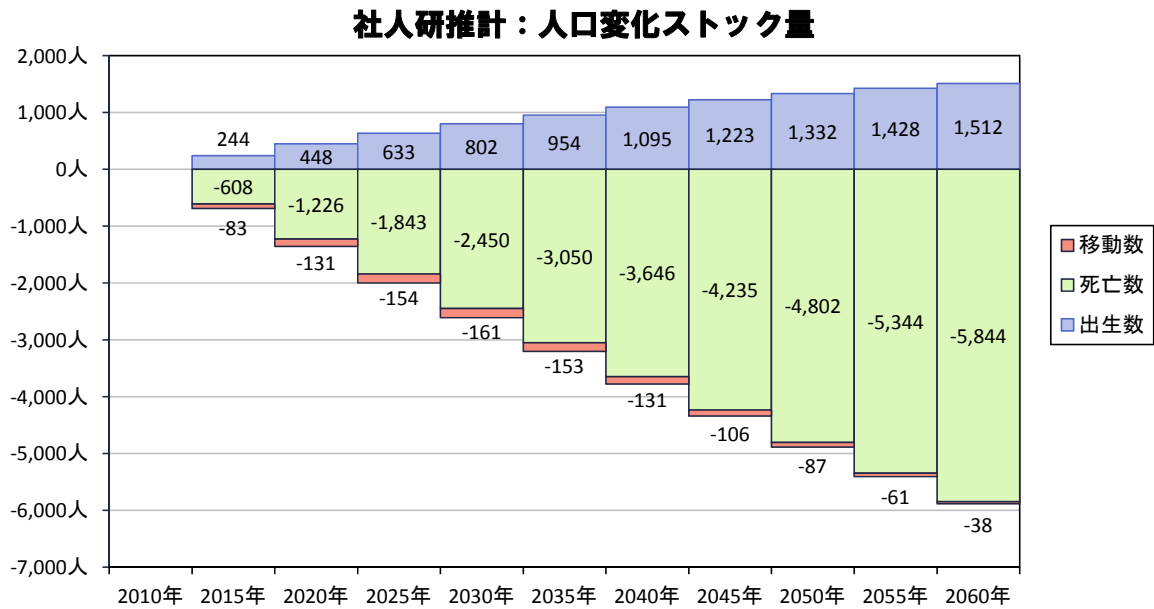
年齢構成比

(単位：人、%)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	8,073	7,626	7,164	6,709	6,264	5,824	5,391	4,955	4,516	4,096	3,703
0～14歳	12.5%	11.2%	10.2%	9.4%	8.9%	8.7%	8.6%	8.5%	8.4%	8.1%	7.8%
15～39歳	23.2%	22.1%	21.0%	20.2%	20.2%	19.9%	18.6%	17.8%	17.1%	16.9%	17.1%
40～64歳	34.2%	33.3%	32.5%	32.2%	30.0%	29.4%	29.2%	28.6%	28.3%	29.1%	29.4%
65～74歳	13.6%	15.1%	16.1%	15.5%	15.8%	15.5%	14.8%	15.8%	15.9%	14.4%	13.3%
75歳以上	16.6%	18.2%	20.2%	22.7%	25.1%	26.5%	28.7%	29.2%	30.3%	31.5%	32.4%
Sim 1：①+出生率上昇	8,073	7,647	7,210	6,823	6,477	6,123	5,777	5,420	5,057	4,723	4,420
0～14歳	12.5%	11.5%	10.8%	10.9%	11.6%	12.6%	13.1%	13.1%	13.3%	13.4%	13.6%
15～39歳	23.2%	22.1%	20.9%	19.9%	19.8%	19.5%	19.0%	19.5%	20.2%	21.2%	22.6%
40～64歳	34.2%	33.2%	32.2%	31.7%	29.0%	28.0%	27.3%	26.2%	25.2%	25.6%	25.5%
65～74歳	13.6%	15.1%	16.0%	15.2%	15.3%	14.7%	13.8%	14.5%	14.2%	12.5%	11.2%
75歳以上	16.6%	18.2%	20.0%	22.3%	24.3%	25.2%	26.8%	26.7%	27.1%	27.3%	27.1%
Sim 2：Sim1+移動ゼロ	8,073	7,749	7,402	7,101	6,852	6,599	6,364	6,136	5,916	5,710	5,544
0～14歳	12.5%	11.6%	11.2%	11.7%	12.7%	14.0%	14.9%	15.3%	15.6%	15.6%	15.6%
15～39歳	23.2%	23.3%	22.8%	22.5%	23.7%	23.4%	22.7%	23.5%	24.7%	26.2%	28.0%
40～64歳	34.2%	32.9%	32.1%	31.3%	27.8%	27.4%	27.4%	26.7%	26.3%	27.7%	27.1%
65～74歳	13.6%	14.7%	15.2%	14.2%	14.2%	13.5%	12.4%	12.9%	12.2%	9.8%	9.4%
75歳以上	16.6%	17.5%	18.8%	20.4%	21.5%	21.7%	22.5%	21.6%	21.2%	20.8%	19.9%
Sim 3：①+出生率上昇+定住化	8,073	7,628	7,206	6,849	6,525	6,212	5,907	5,617	5,372	5,166	5,004
0～14歳	12.5%	11.3%	11.1%	11.6%	12.6%	13.0%	13.1%	13.0%	13.3%	14.0%	14.6%
15～39歳	23.2%	22.1%	20.8%	19.7%	19.4%	19.7%	19.6%	20.1%	21.0%	22.1%	22.6%
40～64歳	34.2%	33.3%	32.2%	31.4%	28.7%	27.7%	27.0%	25.9%	24.8%	24.6%	25.1%
65～74歳	13.6%	15.1%	15.9%	15.1%	15.2%	14.6%	13.7%	14.3%	14.0%	12.2%	10.7%
75歳以上	16.6%	18.2%	19.9%	22.1%	24.1%	25.0%	26.7%	26.6%	27.0%	27.1%	26.9%

3. 美浜町における人口動向・構造の課題

- 今後の趨勢人口（社人研推計）として、2010年の8,073人から2060年には3,703人へと減少することが見込まれますが、その減少の多くは死亡によるものです。
- 下図に示すとおり、2010年から2060年までの50年間で計5,844人の死亡が見込まれています。



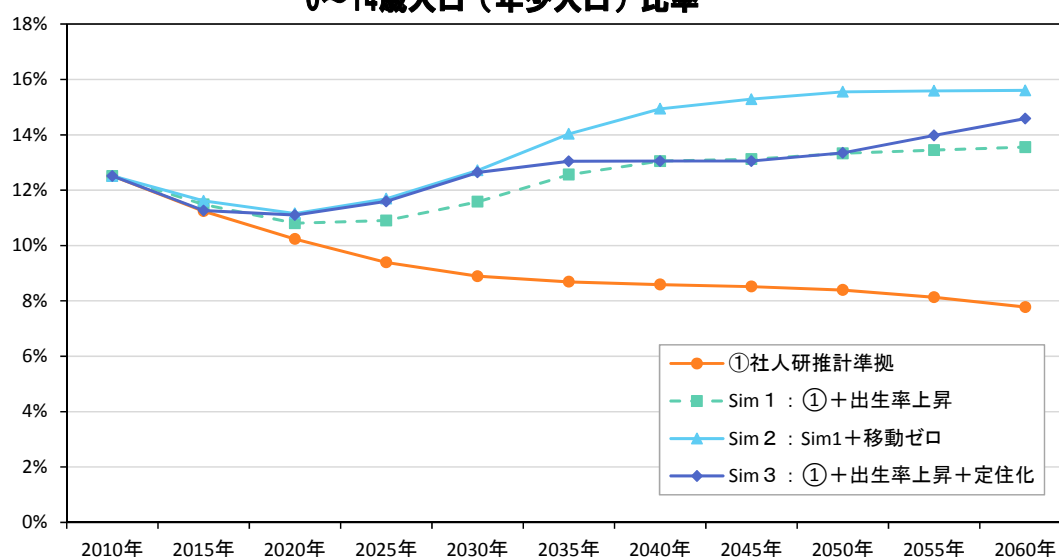
- 高齢化した人口構造を背景に、死亡数を大きく減少させることは困難と考えられ、したがって、今後の人口政策としては、出生数の増加並びに転入促進・転出抑制が重要になってきます。
- 趨勢人口としての高齢者人口は2020年に2,600人程度でピークを迎えることが想定されるものの、総人口の減少に伴い、高齢化率（老年人口比率）は2050年くらいまでは上昇していくことが見込まれています。

○出生動向については、社人研推計（趨勢人口）で仮定された合計特殊出生率の水準（2040年以降 1.33）を大幅に上回るような少子化対策を図る必要があり、そのためには、経済的支援、ワーク・ライフ・バランスの進展等を含めた子育て環境の向上を図るとともに、併せて、若い世代の未婚化・晩婚化を抑制するための婚活支援の取組が極めて重要になってくるものと考えられます。

○前記の高齢化率の上昇を抑制していくためにも、出生数の増加や若い世代の人口増加を図るための取組は重要になります。

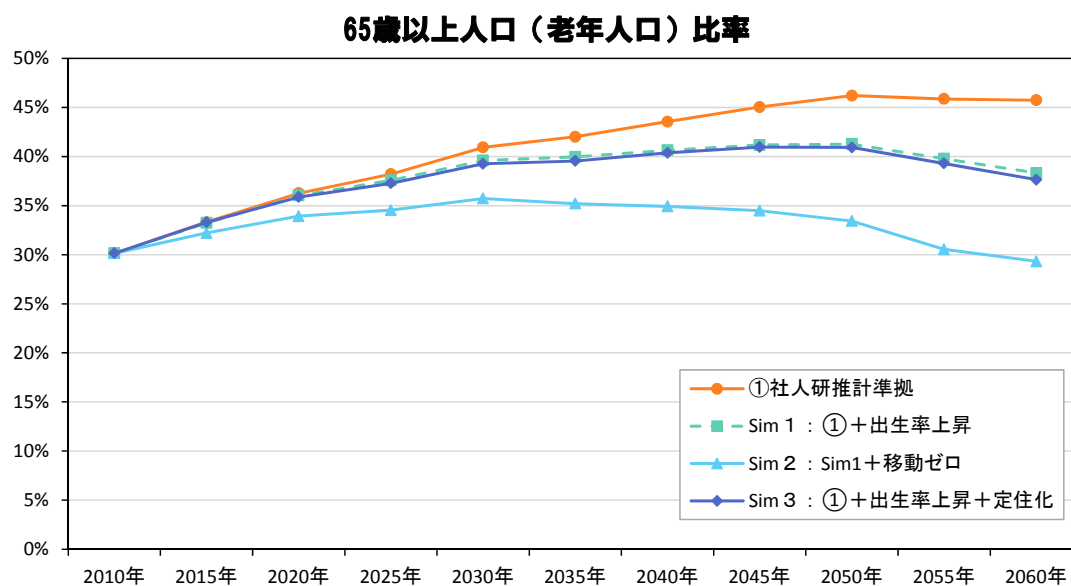
○Sim 1～Sim 3で推計したように、合計特殊出生率上昇の効果として、社人研推計（趨勢人口）では2060年の年少人口比率が7.8%にまで減少するのに対し、Sim 1～Sim 3では現在を上回る水準にまで上昇することになります。

0～14歳人口（年少人口）比率



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	12.5%	11.2%	10.2%	9.4%	8.9%	8.7%	8.6%	8.5%	8.4%	8.1%	7.8%
Sim 1 : ①+出生率上昇	12.5%	11.5%	10.8%	10.9%	11.6%	12.6%	13.1%	13.1%	13.3%	13.4%	13.6%
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	12.5%	11.6%	11.2%	11.7%	12.7%	14.0%	14.9%	15.3%	15.6%	15.6%	15.6%
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	12.5%	11.3%	11.1%	11.6%	12.6%	13.0%	13.1%	13.0%	13.3%	14.0%	14.6%

○こうした年少人口比率の増加の効果もあって、社人研推計（趨勢人口）では 2060 年の高齢化率が 45.7%であるのに対し、Sim 1、Sim 3では 38%程度、Sim2 では 29.3%の水準に抑制することが可能です。



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
①社人研推計準拠	30.1%	33.3%	36.3%	38.2%	40.9%	42.0%	43.6%	45.0%	46.2%	45.9%	45.7%
Sim 1 : ①+出生率上昇	30.1%	33.2%	36.0%	37.6%	39.6%	40.0%	40.6%	41.2%	41.3%	39.8%	38.3%
Sim 2 : Sim1+移動ゼロ	30.1%	32.2%	33.9%	34.5%	35.7%	35.2%	34.9%	34.5%	33.4%	30.5%	29.3%
Sim 3 : ①+出生率上昇+定住化	30.1%	33.3%	35.9%	37.3%	39.3%	39.6%	40.4%	41.0%	40.9%	39.3%	37.6%

4. 人口の変化が地域の将来に与える影響

(1) 町民生活への影響

一定数の人口の上に成り立つ身近な各種サービス（小売、飲食、娯楽、医療など）が、人口減に伴い地域から減少、また、公共施設や学校の統廃合等により様々なサービス・利便性の低下が想定されます。

また、単に住民生活が不便になるというだけでなく、近隣住民同士の付き合いや地域活動への参加などが減少し、自治会や町内会、消防団などの地域の自立的な活動にも影響を及ぼしていくことが懸念されます。

こうした都市機能・生活機能の低下により、さらに人口の転出を促すという悪循環に入り込むことが危惧されます。

(2) 地域経済への影響

人口減少は、地域における消費活動を減退させるだけでなく、労働に従事する人口も減少することから、女性や高齢者の活用が進まない場合、労働力不足やそれに伴う生産量の低下が懸念されます。

さらに、経済規模の縮小が一旦始まると、それがさらなる縮小を招くという「縮小スパイラル」に陥るリスクがあります。

(3) 行財政への影響

経済規模が縮小していく場合、それに伴い税収等の落ち込みが予想されますが、人件費や公債費、社会保障関係経費等は、歳入の減少に応じた削減が困難であり、財政の硬直化が進行するおそれがあります。

中でも、少子高齢化の進行により、年金、医療、介護等の社会保障に係る将来の財政負担は益々大きくなり、家計や企業の経済活動に大きな影響を与えます。

Ⅲ. 人口の将来展望

1. 将来を見据えた人口問題に対する取組の考え方

2010年の総人口8,077人から、今後の趨勢人口として2060年には3,703人にまで減少することが見込まれます。

本町では、こうした趨勢人口を踏まえた上で、合計特殊出生率の上昇並びに純定住率の上昇を図ることにより、長期的視点から人口減少の抑制に取り組むこととし、その目標として目指すべき将来の戦略人口を設定します。

2. 目指すべき将来の姿の基礎となる町民の希望等

(1) 町民意識調査の概要

美浜町における人口の将来展望の基礎資料とするため、住民へのアンケート調査を分析しました。調査の対象者や回収数等については、下表のとおりです。

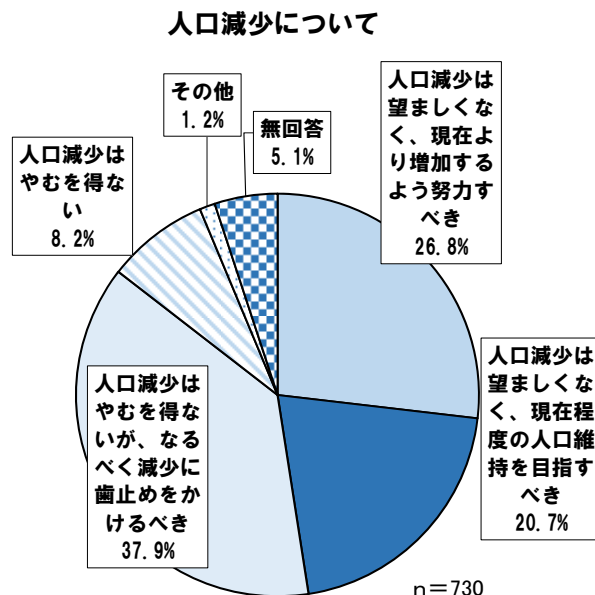
調査名	「今後のまちづくりに向けてのアンケート」調査
調査の目的	町民が日頃感じている思いや意見等を把握する
調査対象者	15歳以上の住民から無作為抽出
調査期間	2015年6月28日～7月10日
配布数	1,500票
有効回収数	730票
有効回収率	48.7%

(2) 調査結果の概要

① 人口減少社会におけるまちづくりについて

○人口が減少していくことについて

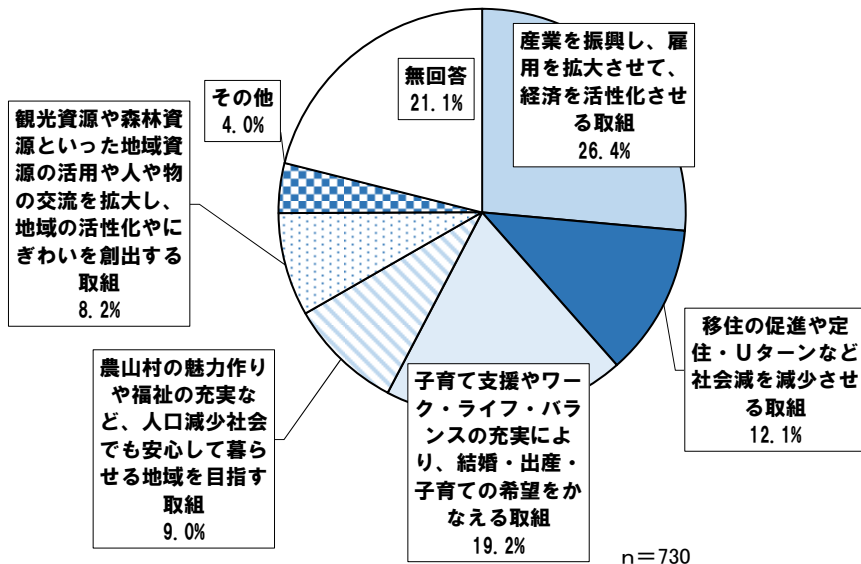
「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が37.9%で最も多くなっています。



○人口減少を克服するために最も重視すべき取組

「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が26.4%で最も多く、次いで「子育て支援やワーク・ライフ・バランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が19.2%となっています。

人口減少を克服するために最も重視すべき取組



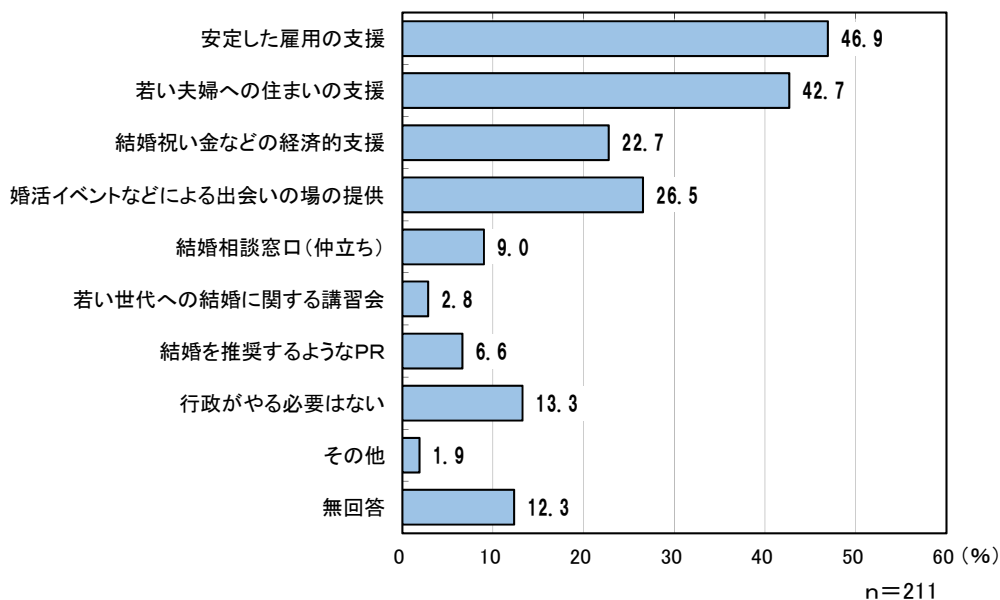
② 結婚について（50歳未満の町民）

回答者の既婚者割合は、48.8%で、未婚者の結婚希望割合は56.0%と低くなっています。結婚していない理由は、「結婚したいと思える相手がいない」が40.0%、「出会う機会、きっかけがない」が32.0%となっています。

○重点的に取り組むべき結婚支援策

重点的に取り組むべき結婚支援策としては、「安定した雇用の支援」が46.9%で最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が42.7%となっています。

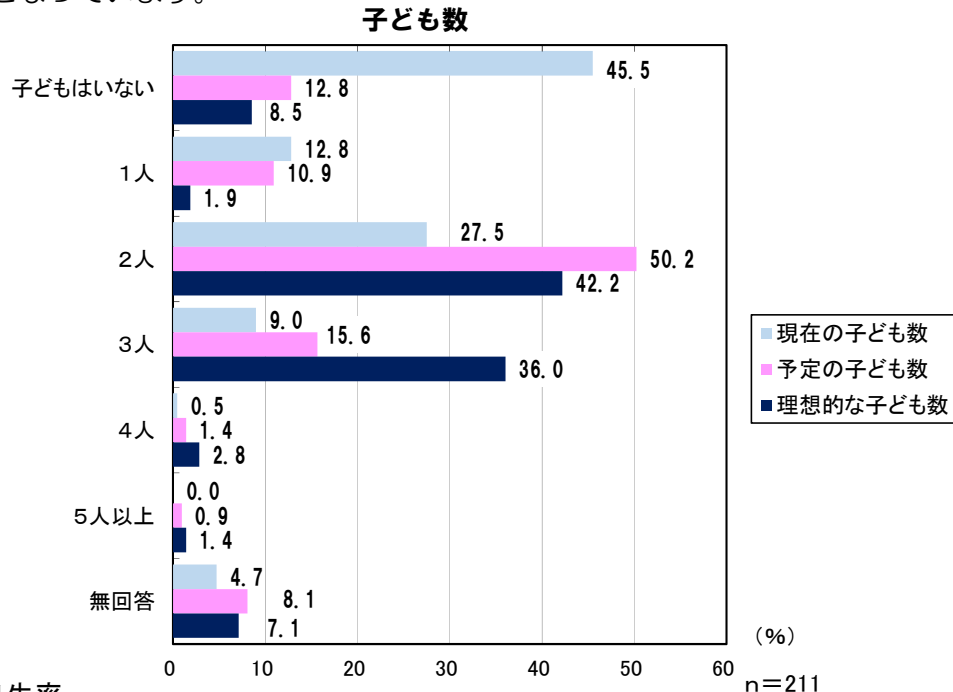
重点的に取り組むべき結婚支援策



③ 出産・育児について（50歳未満の町民）

○子ども数

現在の子ども数は、「2人」が27.5%、「3人」が9.0%ですが、予定の子ども数は、「2人」が50.2%、「3人」が15.6%、理想的な子ども数は、「2人」が42.2%、「3人」が36.0%となっています。



○希望出生率

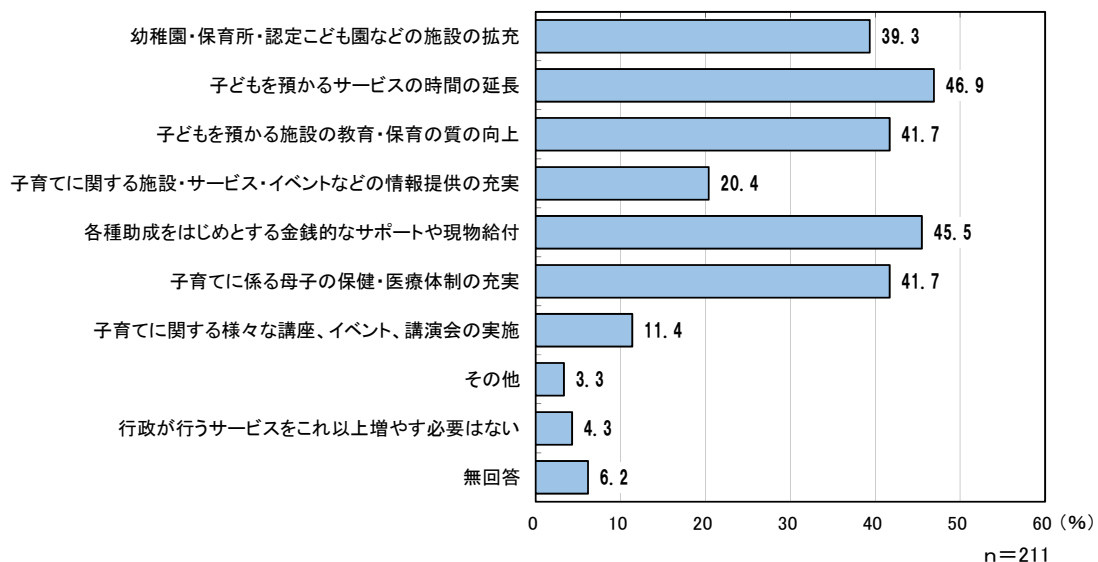
アンケート結果等から算出した美浜町の希望出生率は、1.8程度となっています。

$$\begin{aligned} \text{希望出生率} &= (\text{有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定子ども数} + \text{独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \times \text{独身者の希望子ども数}) \times \text{離死別等の影響} \\ &= (42.5\% \times 2.03 \text{人} + 57.5\% \times 84.8\% \times 2.18 \text{人}) \times 0.938 = 1.806 \approx 1.8 \text{程度} \end{aligned}$$

○出産・育児に関する力を入れるべきサービス

出産・育児に関する力を入れるべきサービスとしては、「子どもを預かるサービスの時間の延長」が46.9%、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が45.5%となっています。

出産・育児に関する力を入れるべきサービス

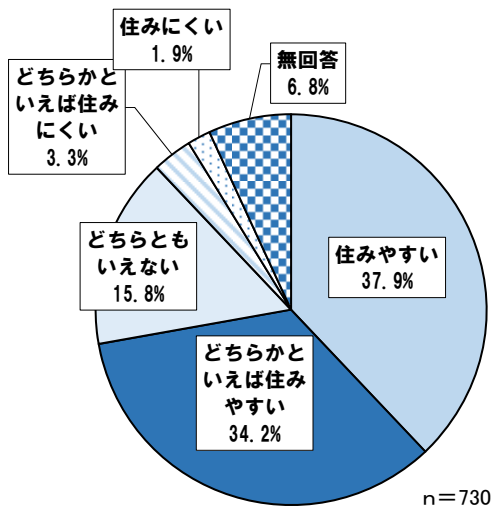


④ 定住意向等

○美浜町の住み良さ

美浜町の住み良さについては、全ての年代で半数以上が“住みやすい”と評価しています。

美浜町の住み良さ



	合計	問2 美浜町は住みやすいか					
		住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	不明
全体	730	277	250	115	24	14	50
	100.0	37.9	34.2	15.8	3.3	1.9	6.8
②年齢							
20歳未満	23	11	4	4	0	0	4
	100.0	47.8	17.4	17.4	0.0	0.0	17.4
20～24歳	17	6	5	2	2	1	1
	100.0	35.3	29.4	11.8	11.8	5.9	5.9
25～29歳	19	6	4	5	2	2	0
	100.0	31.6	21.1	26.3	10.5	10.5	0.0
30～34歳	26	9	11	4	0	0	2
	100.0	34.6	42.3	15.4	0.0	0.0	7.7
35～39歳	37	15	15	4	1	1	1
	100.0	40.5	40.5	10.8	2.7	2.7	2.7
40～49歳	89	37	29	15	5	0	3
	100.0	41.6	32.6	16.9	5.6	0.0	3.4
50～64歳	183	58	66	40	4	5	10
	100.0	31.7	36.1	21.9	2.2	2.7	5.5
65歳以上	328	134	115	40	9	5	25
	100.0	40.9	35.1	12.2	2.7	1.5	7.6

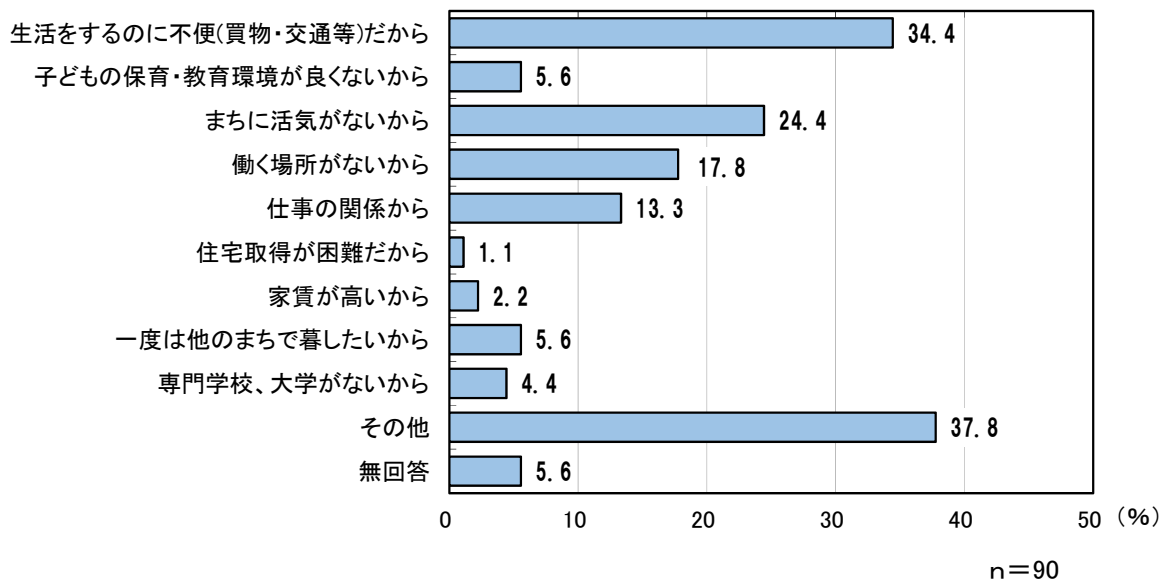
○定住意向

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」と回答する人が64.4%となっています。

○移転したい理由

移転したい理由としては、「生活をするのに不便(買物・交通等)だから」をあげる人が34.4%で最も多く、次いで「まちに活気がないから」が24.4%となっています。

移転したい理由



⑤ 働くことについて（50歳未満の町民）

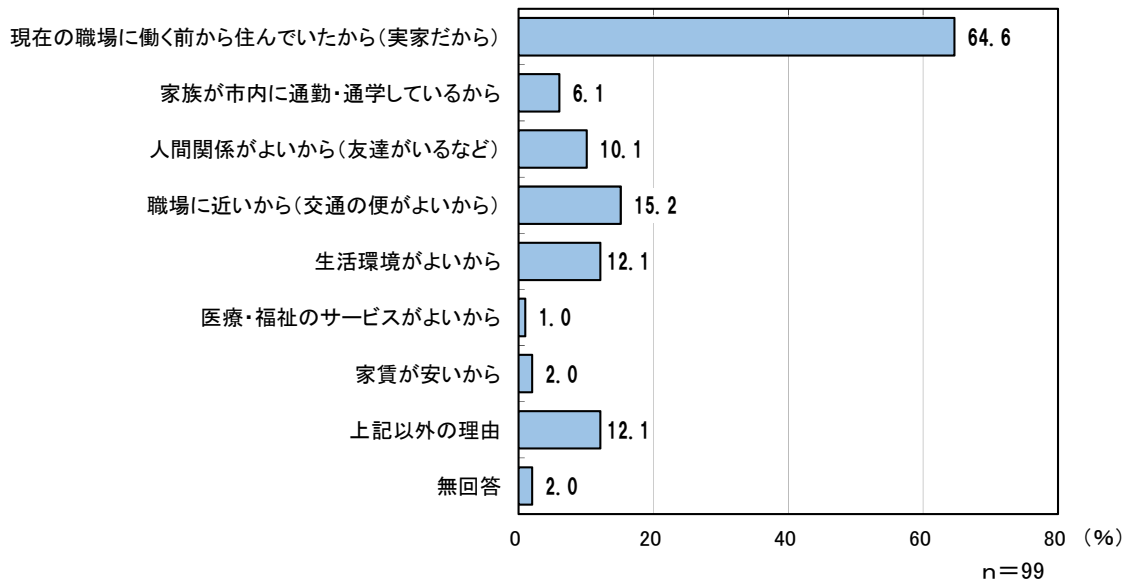
○就労状況

「町外」で就労している方が46.9%、「町内」で就労している方が19.4%となっています。

○働く場所と違う美浜町に住んでいる理由

働く場所と違う美浜町に住んでいる理由としては、「現在の職場に働く前から住んでいたから（実家だから）」が64.6%で最も多くなっています。

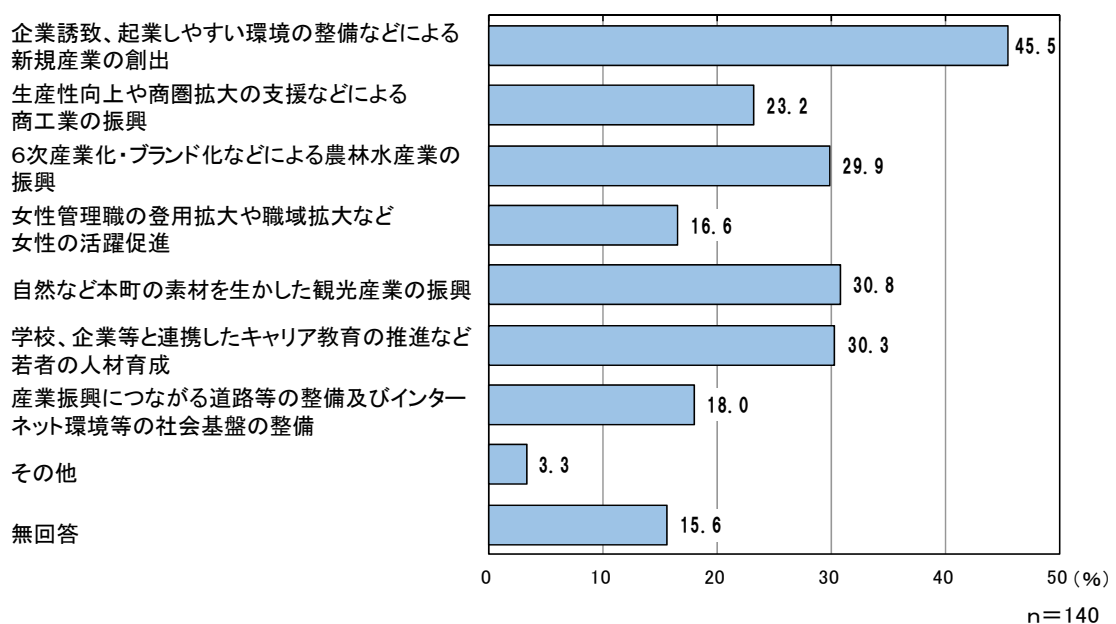
働く場所と違う美浜町に住んでいる理由



○地域経済の活性化で力を入れるべき取組

地域経済の活性化で力を入れるべき取組としては、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が45.5%で最も多くなっています。

地域経済の活性化で力を入れるべき取組

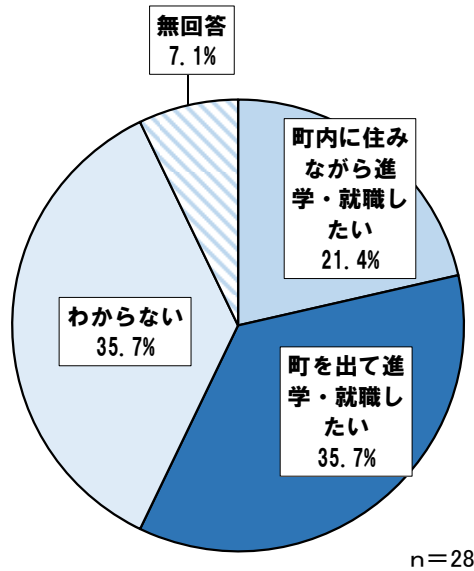


⑥ 今後の進学・就職について（学生）

○今後の進学・就職先

今後の進学・就職先は、「町を出て進学・就職したい」が35.7%、「町内に住みながら進学・就職したい」が21.4%となっています。

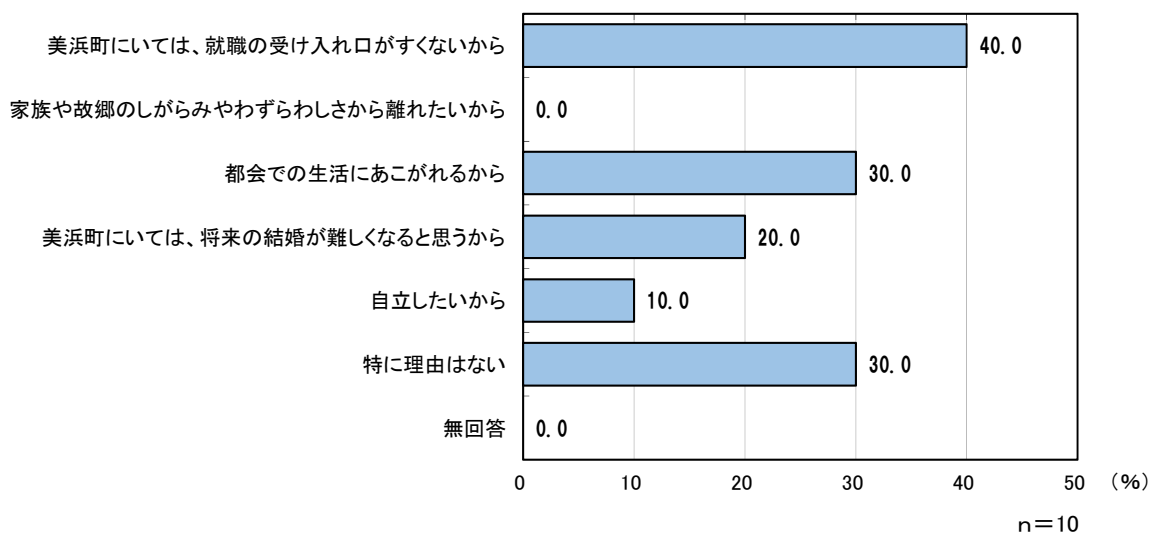
今後の進学・就職先



○将来的に美浜町を出たい理由

美浜町を出たい理由は、「美浜町には、就職の受け入れ口がすくないから」が40.0%で一番の理由となっています。

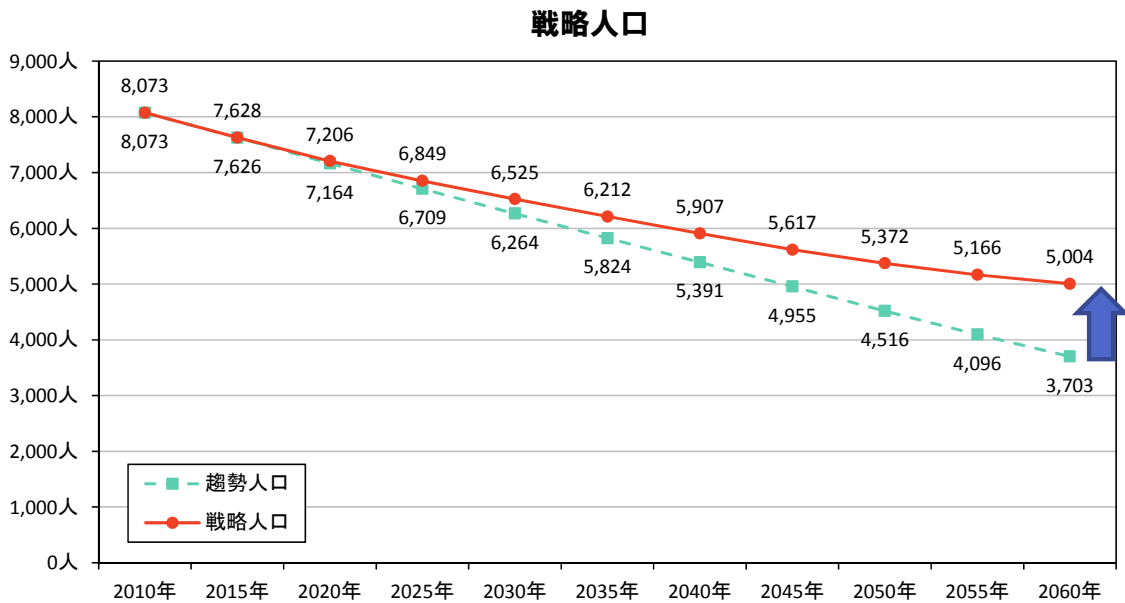
将来的に美浜町を出たい理由



3. 目指すべき将来の戦略人口と展望

(1) 戦略人口（前述 Sim3）

○少子高齢化、転出超過といった本町の人口問題に対して、長期的視点から取り組むことにより、2060年において5,000人程度の人口規模を目指します。



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	8,073	7,626	7,164	6,709	6,264	5,824	5,391	4,955	4,516	4,096	3,703
戦略人口	8,073	7,628	7,206	6,849	6,525	6,212	5,907	5,617	5,372	5,166	5,004
戦略効果 (戦略人口-趨勢人口)			42	140	261	388	516	662	856	1,070	1,301

○なお、戦略人口における合計特殊出生率及び社会移動については、次のように仮定しています。

① 合計特殊出生率

若い世代の結婚・子育ての希望が実現するならば、我が国の出生率は 1.8 程度（国民希望出生率）の水準まで向上することが見込まれています。

和歌山県では、合計特殊出生率が上昇（2020 年：1.80，2030 年以降：2.07）することを目指していますが、本町では、2025 年以降 2.10 を目指すものとします。

	西 暦（年）										
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
合計特殊出生率	1.50	1.50	1.91	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10

② 社会動態

和歌山県では、今後の社会動態は、これからも一定の転出があると見込む一方で、今後 10 年ごとに 50%の定率で縮小することを目指しています。

本町は、純定住率を上げることにより、その後の転入増を目指します。

	設 定
社会動態	各年齢層を通じたライフサイクルでの純定住率（各年齢層の純定住率の積）が 2040 年までに男女ともに 1.0 にまで上昇、さらに 2060 年までに 1.4 にまで上昇することを仮定。

(2) 戦略人口に基づく将来展望

①年齢構造の視点からの展望

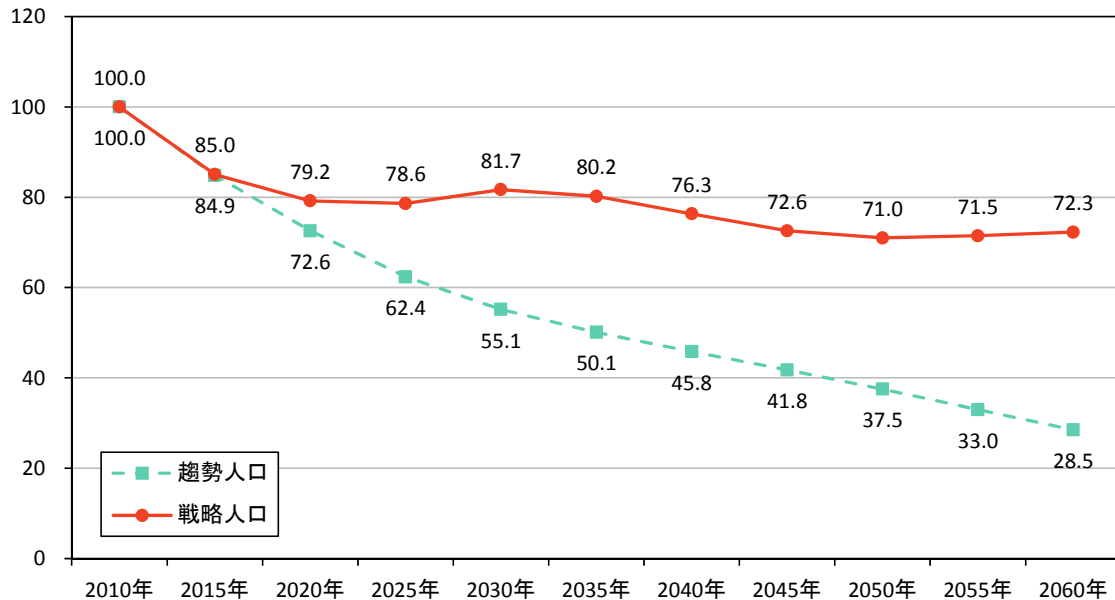
[年少人口]

〇〇～14歳の年少人口比率は、2010年の12.5%から一旦は11.1%にまで減少するものの、出生率の上昇に伴いその後増加し、2060年には14.6%になることが想定されます。

〇様々な子育て支援策は、戦略人口達成の前提となる合計特殊出生率の上昇を実現するための手段のひとつであるとともに、その結果として出現する未就学の子ども数に対応した施策でもあります。

〇年少人口は、今後も現状の70%以上の水準を維持することから、その手段であり、対応策でもある子育て支援へのニーズが大きく縮小することは想定しづらく、今後も少子化対策の観点からの取組が重要になってきます。

年少人口（2010=100）



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	1,010	857	733	630	557	506	463	422	379	333	288
戦略人口	1,010	859	800	794	825	810	771	733	717	722	730

変化指数	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	100.0	84.9	72.6	62.4	55.1	50.1	45.8	41.8	37.5	33.0	28.5
戦略人口	100.0	85.0	79.2	78.6	81.7	80.2	76.3	72.6	71.0	71.5	72.3

構成比	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	12.5%	11.2%	10.2%	9.4%	8.9%	8.7%	8.6%	8.5%	8.4%	8.1%	7.8%
戦略人口	12.5%	11.3%	11.1%	11.6%	12.6%	13.0%	13.1%	13.0%	13.3%	14.0%	14.6%

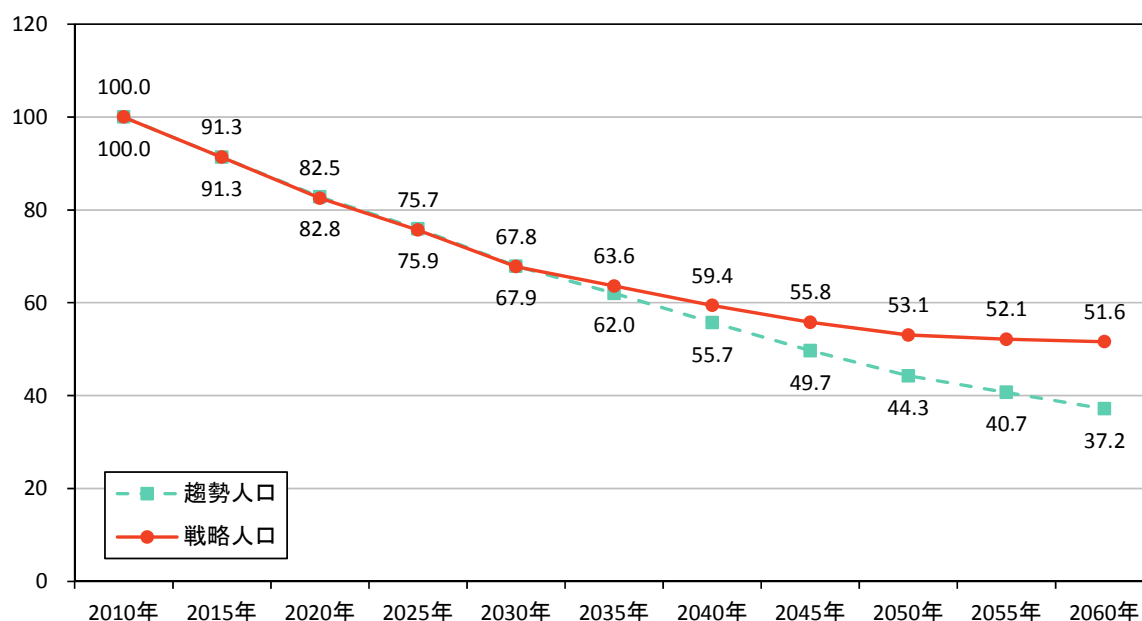
[生産年齢人口]

○消費面、生産面からその多くを担うことが期待される生産年齢人口については、人口規模の縮小に伴い、長期的にも縮小傾向で推移する見通しです。

○人口構造の観点からは、2010年の57.3%から2060年には47.8%にまで減少するものと想定されます。

○今後は、地域における雇用の創出を図るとともに、経済規模の縮小を抑制するためにも生産性の向上や、労働力人口の減少を和らげるために、女性や高齢者の活用などについても力を入れていくことが重要です。

生産年齢人口（2010=100）



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	4,629	4,228	3,833	3,515	3,142	2,871	2,580	2,301	2,050	1,884	1,721
戦略人口	4,629	4,228	3,820	3,502	3,138	2,945	2,751	2,583	2,456	2,414	2,390

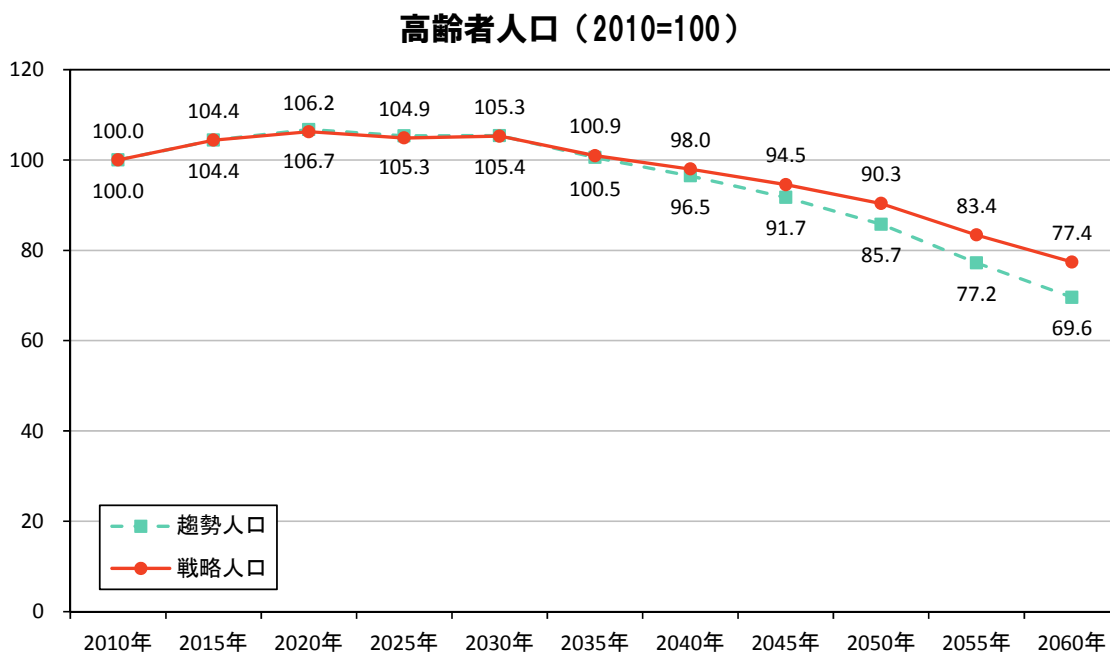
変化指数	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	100.0	91.3	82.8	75.9	67.9	62.0	55.7	49.7	44.3	40.7	37.2
戦略人口	100.0	91.3	82.5	75.7	67.8	63.6	59.4	55.8	53.1	52.1	51.6

構成比	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	57.3%	55.4%	53.5%	52.4%	50.2%	49.3%	47.9%	46.4%	45.4%	46.0%	46.5%
戦略人口	57.3%	55.4%	53.0%	51.1%	48.1%	47.4%	46.6%	46.0%	45.7%	46.7%	47.8%

[高齢者人口]

○高齢者人口は、2020年をピークに減少過程に入ることが想定されますが、人口構造における高齢化率については2010年の30.1%から上昇傾向で推移し、2045年に41.0%でピークを迎えるものと想定されます。

○既にアクティブシニア世代とも呼ばれる団塊の世代は高齢者に含まれており、こうした比較的元気な高齢者に一人でも多く活躍していただくことが、人口減少期における町の活性化には不可欠と考えられます。



（単位：人）

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	2,434	2,541	2,598	2,564	2,565	2,447	2,348	2,232	2,087	1,879	1,694
戦略人口	2,434	2,541	2,586	2,553	2,562	2,457	2,385	2,301	2,199	2,030	1,884

変化指数	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	100.0	104.4	106.7	105.3	105.4	100.5	96.5	91.7	85.7	77.2	69.6
戦略人口	100.0	104.4	106.2	104.9	105.3	100.9	98.0	94.5	90.3	83.4	77.4

構成比	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	30.1%	33.3%	36.3%	38.2%	40.9%	42.0%	43.6%	45.0%	46.2%	45.9%	45.7%
戦略人口	30.1%	33.3%	35.9%	37.3%	39.3%	39.6%	40.4%	41.0%	40.9%	39.3%	37.6%

(3) まとめとしての将来展望

- 戦略人口の達成に向けては、地域における雇用や本町への新しい“人の流れ”を創出するとともに、出産や子育てに関する現実と理想とのギャップを解消するための環境整備、人口減少時代に対応した地域社会を創り出すための取組を進める必要があります。
- また、町民が安心して暮らし続けるためにも、防災面での取組を充実させていくことも重要です。
- そうした取組を通じて、本町人口の減少を可能な限り抑えることにより、地域における消費の落ち込みを抑制し、雇用や労働力人口を確保し、地域経済・地域社会に対する人口減少の影響を最小限に留めていくことが重要となります。
- 美浜町の将来の姿をともに見据えつつ、地域の豊かな資源と安心・快適な暮らしを次の世代へと受け継いでいくために、戦略人口を達成するための地方創生の取組を「総合戦略」として明らかにし、その着実な遂行を図っていくこととします。